

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

事業名	部局	定数 事業	種別 活動	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容	
<b>(1) 理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に関する事業</b>										
2016国際福祉機器展	渉外部	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業 共催事業	平成28年10月12、 13、14日	東京ビッグサイ ト	一般都民 理学療法士 うち都士会員	112752名 30名 26名	都士会HP 都士会 ニュース	2016国際福祉機器展出展 理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に関する事業 として、医療福祉に関係する不特定多数が参集する展示会で、 展示、相談会、講義などを行う。今年の第43回展示会には、昨 年度を上回る出展者527社が出展し、全3日間の来場者は 112,725名にも及んだ。連日H.C.R.セミナーが開催されたほ か、今年度も出展社セミナーの1時間枠も申請が通り、介助ロ ボットの機能を生かす介助技術を盛り込んだ講演内容で多くの 来場者に足を運んでいただいた。出展ブース内においても、理 学療法士の視点から「健康寿命を延ばすため」についてテーマ を掲げプレゼンテーションを行い、連日多くの参加者でにぎ わった。
診療報酬、介護報酬に関する相談、 助言	医療報酬 部	1	35 相談・ 助言	自主事業 主催事業	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日	杏林大学医学部 付属病院	理学療法士 うち都士会員		都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に関する事業 として、今年度は、目標設定等支援・管理料が新しく設定さ れ、協会ホームページより算定の仕方についての質問が5つ あった。内容に関しては、病院が変わったときの算定の仕方 についてどのように考えたらよいかという質問であり、部員で協 議し、他士県会とも相談し間違えないように返答した。
パラリンピック競技会場周辺のユニ バーサルデザイン環境調査	国際競技 大会・ス ポーツ理 学療法推 進部	1	36 調査・ 資料 収集	自主事業 主催事業	平成28年6月27～28 日、7月12日、15日、 10月15日、11月24日	東京都理学療法 士協会事務局、 オリンピックス タジアム周辺、 馬事公苑周辺、 株式会社電通本 社ビル	理学療法士 うち都士会員	各日1～13名 各日1～13名	東京2020オ リンピック ・パラリ ンピック 準備局の 実施段 階環境影 響評価書 案に関 する意 見募集に 東京理 学療法 士協会 からの 意見と して提出	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的とし て、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて 整備されつつあるアクセシビリティについて、理学療法士の視 点からユニバーサルデザインが適切に配慮されているかを調査 した。具体的には、競技会場周辺および最寄駅を調査し、誰も が安全で快適な Tokyo Lifeを過ごせるような環境であるか について調査した。尚、本調査結果は、東京都オリンピック・パ ラリンピック準備局に対し情報提供として調査報告書を提出し 提言を行った。 ・オリンピックスタジアム：平成28年07月22日提出 ・馬事公苑：平成28年10月23日提出
介護報酬に関する情報収集と情報提 供に関する事業	介護報酬 部	1	35 相談・ 助言	自主事業 主催事業	平成29年2月20日	練馬区役所	理学療法士 うち都士会員	3名 3名	広報活動な し	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に関する事業 として、理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に 関する相談・助言・アンケート調査などを実施すべく事業を計画 した。本年度は、29年度実施予定の介護報酬に係るアンケート 調査の構成を検討する準備期間とし、当部で過去に実施された 短時間通所リハに関連したアンケート内容と結果を把握。ま た、本年度練馬区介護事業者連絡協議会で、通所リハ施設に 向けて行われたアンケート内容と結果を把握した。 次年度は下記について調査・報告を行う予定とした。 ・当部で過去に実施された短時間通所リハに関連したアンケ ートを再度実施し、比較検討を行う。 ・リハマネ2や生活行為マネジメント加算など、通所リハで話 題となっている加算算定状況を把握する。
一般公開講座	公開講座 準備委員 会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業 主催事業	平成29年1月29日	東京医科歯科大 学	一般都民 理学療法士 うち都士会員	11名 18名 18名	都士会HP	都民の医療・保健・福祉の増進に資するため、慶應義塾大学の 山本淳一先生をお招きし、第1部として、明日からできる応用 行動分析による発達支援と問題解決というテーマで、教育関係 者および理学療法士にご講演いただいた。また、第2部とし て、学校保健における学校教諭と理学療法士の協働に向けて必 要なことというテーマで、ワークショップを行った。本公開講 座の開催が都内勤務の小・中学校教員と理学療法士が互いの専 門性を知り得る貴重な機会となり、今後の学校保健における互 いの協働に大きな一歩となった。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

リハビリテーション専門職合同健康増進フォーラム	リハビリテーション専門職推進委員会	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年12月3日	東京都医師会館	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	52名 16名 15名 15名	都士会IP 都士会 ニュース、 OT士会・ST 士会のIP、 東京新聞に掲載	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、リハビリテーション専門職合同健康増進フォーラムを開催した。 病気になるったり障がいが生じたりした時に開くだけでなく、日頃から身近な専門職として理学療法士が都民(地域の皆様の)の介護予防や健康増進の効果を上げること、都民の健康に関する不安を解消する機会とすることを目的とした事業である。研修会や講演、体力テスト、自宅でできる体操指導などを実施した。
リハビリ相談会 年3回(6月4日、8月20日、2017年2月4日)	成人福祉部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成28年6月4日 平成28年8月20日 平成29年2月4日	福生市福祉センター	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	各日3~4名 各日1~2名 3~5名 3~5名	都士会 ニュース 社会福祉協議会作成の 案内文書 (案内文書は、福祉センターおよび各保健福祉機関にて来室した都民の方に配布) 福生市広報誌および福生市ホームページ	都民の医療・保健・福祉の増進を目的とし、相談会を3回開催した。相談内容の一例を以下に記載する。 6月4日 相談は3件3名(男性1名 女性2名) ・50歳代の右片麻痺の方、旅行に行つて畳の部屋だったので立ち上がり難しかったとの相談。 ・80歳代のお二人。CVA後、リハビリしてるが手のしびれが残る、同じくリハビリしてるが歩行時にふらつきがあるとの相談。両者とも近隣の病院、施設、介護保険でのリハ等の説明を行い、一部簡単な自主訓練の指導を行った。 8月20日 相談は4件(男性2名 女性2名) ・50歳代の左片麻痺の方、60歳代の左片麻痺の方、ともにもう少し歩けるようになりたいとの相談。デイサービスに行つているので、見守りを受けながら歩行練習やストレッチ等の自主トレをお勧めした。 ・50歳代の左股関節置換術後の方、70歳代の腰痛の方、外来でリハビリを受けられるところはないか、との相談で、近くの外来リハを行っている病院の紹介などを行った。 29年2月4日 相談は3件3名(男性1名 女性2名) ・50歳代の左片麻痺の男性の方、50歳代の左片麻痺の女性の方、右手足に負担がかかって肩こりや痛みが出るがどうしたらいいか、左手を少しでも動かせるようになりたいとの相談。 ・80歳代女性の方、骨粗鬆症で投薬治療中、背骨が曲がっている、腰痛がある、バランスが悪い、転びやすい、等の相談があった。介護予防教室にも参加しているが、理学療法士が指導している筋トレができるところを紹介してほしいとの相談もあった。
リハビリ相談会、体操教室、体力測定会(西東京市民まつり健康づくりコーナー)	健康増進部	1	35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成28年11月12日	いこいの森公園(西東京市)	一般都民 理学療法士 うち都士会員	154名 12名 12名	西東京市報 西東京市HP	都民の医療・保健・福祉の増進を目的とし、相談会を開催した。相談会の内容としては 1、リハビリ相談会 医療、介護、予防分野でのリハビリに関する相談業務 2、リハビリ体操教室 セラバンドを用いた体操指導 3、体力測定会 家庭用ゲーム機Wiiを用いたバランス能力の測定
介護予防キャンペーン(理学療法の日 全国一斉介護予防健康増進キャンペーン in巣鴨)	業務推進部	1	38 キャンペーン(〇月間)	自主事業	主催事業	平成28年7月17日	すがもん広場	一般都民	約300名+α	都士会HP 都士会 ニュース その他 新聞掲載(東京新聞) テレビCM(豊島テレビ)	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に関する催しとして以下のイベントを行った。 ①介護予防講座 ②体験型ロコモ度テスト ③介護・福祉用具等の相談コーナー ・今回は区西北部ブロックが運営主体となり、「理学療法の日 全国一斉介護予防健康増進キャンペーン」を巣鴨地蔵通り商店街内にある「すがもん広場」において開催致した。 ・東京新聞様と豊島ケーブルテレビ様には新聞掲載や情報番組での放送を含め当日のインタビューなどもご協力頂き「多くの方に〇〇を見て今日来ました」とお声掛け頂けたことにより、多くの方に広報活動が行え、「理学療法の日」を知り、体験して頂くことが出来たと実感している。 ・当日は巣鴨商店街の公式イメージキャラクター「すがもん」の応援もあり、小さなお子様から家族連れ、高齢者と幅広い年齢層の皆様、総勢300名以上の方にお集まり頂いた。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

介護予防事業に対応する評価表の作成	地域包括ケアシステム推進委員会	1	36 調査・資料 収集	自主事業	主催事業	平成28年10月16日	清瀬市民まつり 会場(駅前通り)	一般都民 その他医療従事者	23名 2名	市報など、 導入研修修 了者へ、介 護予防事業 に使用する 体力測定 シートの内 容をアン ケート	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的とし、介護予防事業の評価表を作成するために、不特定多数の方々が参加する市民まつりで、体力測定を行い、実施にかかる時間・安全性・妥当な評価項目について検討する。導入研修修了者へのアンケートを基に、介護予防事業に使用する体力測定シートの内容を検討し、来年度の都土会事業から試用するよう印刷まで行った。
各種イベントサポート	外宣部	1	39 展示会 (○ ○ シャ)	自主事業	主催事業	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日	都土会事務局	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都土会員	1500名 1000名 1000名 200名	都土会HP 都土会 ニュース	都民の医療・保険・福祉の増進を目的とし、都内各イベントにおいて使用するノベルティの作成した。ノベルティは、ティッシュ、ボールペン、クリアファイル、トートバックを作成した。またリーフレットも一新し作成した。
学校から医療、医療から学校の円滑な循環システムの構築のための調査	学校保健部	1	36 調査・資料 収集	自主事業	主催事業	平成28年8月29日、平成29年1月29日、3月2日	小平市立小平第二中学校、東京医科歯科大学、小平市立小平第一中学校、	小平市養護教諭 (8/29) 理学療法士 うち都土会員	13名 各日5～16名 各日5～16名	特になし	都民の医療・保険・福祉の増進を目的とし、成長期における運動に起因する怪我の予防と対応について教員や養護教諭と話し合うことで共通認識を持つために研修会へ参加した。 日時：8月24日 小平市教科等研究会（保健）に参加 内容：上記テーマ対して「理学療法士からの講演」及び「討議」 講演 ①成長期と傷害予防について（武蔵境病院付属あんずクリニック 小野寺悠先生） ②学校運動器検診について（くまざわ整形外科クリニック 岡一樹先生） 『運動器検診実態調査まとめ』報告 小平市養護教諭 理学療法士 5名（都土会 5名） 日時：1月29日 市民公開講座「応用行動分析による発達支援と問題解決」『学校保健における学校教諭と理学療法士の協働に向けて必要なこと』に参加 理学療法士 16人（都土会16名） 日時：3月2日 小平市立小平第一中学校保健室見学に参加 理学療法士 4名（都土会 4名）
韓国ソウル市理学療法士協会より講師招聘の講習会	渉外局	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	共催事業	平成28年6月18、19日	東京医療学院大学	理学療法士	1200名	都土会HP 都土会 ニュース 東京都理学療法士学術大会と共催	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に関する事業として、韓国ソウル市理学療法士協会からHa Min-ho氏（ヨンセパン病院）を講師としてお迎えし、「韓国の老人理学療法」と題してご講演を戴いた。都内とソウル市など地域性や社会資源の違いなど異なる社会であっても対象者である高齢者が求めることは共通しており、また、それに適切に対応する理学療法士に求められることも共通する部分が多いことが示された。
健康・介護予防イベント(北区介護あんしんフェア2016)	業務推進部	1	35 相談・ 助言	自主事業	共催事業	平成28年11月13日	ほくとびあ	一般都民 理学療法士 うち都土会員	350～430名 10～12名 10～12名	ご案内郵送 区内の介護 事業所・医 療機関・町 会指示等 区報掲載	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のため、きたく介護あんしんフェア2016に参加し、東京都北区医師会、東京都北歯科医師会、東京都荒野川歯科医師会、北区ケアマネジャーの会、北区高齢者福祉施設長会、北区社会福祉協議会、北区柔道整復師会、北区通所サービス提供責任者の会等多くの団体がブースをだし、区民の健康増進介護予防に対して啓蒙した。東京都理学療法士協会としては、北区内のリハビリ実施可能施設・病院を紹介し、リハビリ相談、エアロバイク体験、スタンプラリーを行った。 相談内容としては、(相談者10名) ・訪問リハビリができる事業所はどこか？ ・閉じこもりの場合はどうしたらいいか？ ・親が脳血管疾患で入院中だが、転院希望でどこか良い所はあるか？など。スタンプラリーでブースに来られた方は、371名であった。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

健康・介護予防イベント(板橋区健康福祉フェア)	業務推進部	1	35 相談・助言	自主事業 共催事業	平成28年10月26日	としまえん	一般都民 理学療法士 うち都士会員	350～430名 10～12名 10～12名	ご案内郵送 区内の介護 事業所・医 療機関・町 会掲示等 区報掲載	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のため、 1 ミニ講座 テーマ:「もしかしらたてはまる? 転びやすい人の特徴」、2 測定ブース テーマ:「転倒に関する体力測定」を行った。 ミニ講座では転倒の発生場所や要因、生活動作のアドバイスなどについて講演し、参加者には転倒リスク評価表による自己評価を行った。また測定ブースでは、転倒に関する体力測定として歩行速度、静的・動的バランス能力、下肢筋力の測定を行い、それぞれの年代別平均値や転倒リスクのカットオフ値と比較しながら説明した。低値の項目がある場合については自宅で出来るトレーニングを紹介し、資料をお渡しした。 参加者は皆様真剣に取り組み、「緊張する。」との声もあったが、終了時には「楽しかった。」「来年も来ようかしら。」といった感想をいただき、地域住民の方々にご自身の身体能力や転倒予防への興味を持って頂けたのではと考える。 今回のこのような活動を通じて、都民の方々の健康増進に広く働きかけるとともに、今後多くの方に参加して頂くための効果的な広報活動が必須であると感じた。
健康・介護予防イベント(練馬 第27回健康フェスティバル)	業務推進部	1	35 相談・助言	自主事業 共催事業	平成28年10月16日、	板橋区立グリーンホール	一般都民 理学療法士 うち都士会員	350～430名 10～12名 10～12名	ご案内郵送 区内の介護 事業所・医 療機関・町 会掲示等 区報掲載	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に関する催しとして練馬区健康・介護予防キャンペーンで東京都理学療法士協会のブースを設置し、「スパイロメータを使用した肺年齢測定」「姿勢チェック」「健康増進・介護予防に関する相談」「バランスボール体験」を実施した。また介護予防予「介護予防 何を、どう予防するんだ?」と「1からわかるロコモ基礎知識編」の2つのパンフレットを使用し、「区民のための理学療法・リハビリテーション相談室」として、理学療法士の専門性の高い身体づくりと生活動作の提案及び相談を実施した。 総勢約430名の参加者は高齢者だけではなく学生さんやお子様連れの母親など幅広い年齢層の方々に来場して頂き、今回の事業を通じて、都民の方々が健康に対して高い関心を持っている事と、各年代によって異なる様々な悩みを持っていることを改めて知ることが出来た。今後もこのような活動を通じて地域の方々の声に耳を傾けていくことで、理学療法士の関わり方の多様性見出しにいけるのではないかと感じた。
国際医療福祉機器展2016	外宣部	1	39 展示会 (○ ○ ツアー)	自主事業 主催事業	平成28年10月12日～ 14日	東京ビッグサイト	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1500名 1000名 1000名 200名	国際医療福祉機器展 2016ホームページ上	都民の医療・保健・福祉の増進を目的とし、国際福祉機器展に「理学療法紹介ブース」を出展した。出展ブースでは、理学療法の啓蒙活動として、理学療法の紹介チラシ・リーフレットを作成し来場者に配布した。また、来場者を対象にブース内にて健康・福祉・介護予防の最新情報をレクチャーした。
三団体合同訪問リハビリテーション実務者研修会(現任者研修)	福祉保健局	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業 主催事業	平成28年11月12日、 13日	首都医校	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	各日7～8名 各日25～30名 各日22～25名	都士会HP 都士会 ニュース FAXおよび、 東京都作業療法士会、 東京都言語聴覚士会の ニュース、 HP	都民の医療・保健・福祉の増進を目的とし、訪問2年未満向けの初任者研修会を開催した。現任者研修会の対象は、3年目以上、もしくは初任者研修会修了者の40名程度であった。 内容は「リスク管理」をメインテーマに設定し、 1. 訪問リハビリテーションにおける循環器疾患のリスク管理 講師: 柏木 潤一(医師 柏木クリニック) 2. 生活環境の大きな変化を支える訪問リハビリテーションの活動 講師: 安部 ちひろ(理学療法士 浜通り訪問リハビリテーション) 3. 訪問リハビリテーションにおける難病のリスク管理 講師: 田中 勇次郎(作業療法士 東京都作業療法士会会長) 4. グループワーク ヒヤリハットの事例検討 講師: 粉 紀男(理学療法士 河北家庭医療学センター)として開催した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

三団体合同訪問リハビリテーション実務者研修会(初任者研修)	福祉保健局	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年9月24日	帝京平成大学 池袋キャンパス	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	16名 52名 45名	都士会HP 都士会 ニュース FAXおよび、 東京都作業 療法士会、 東京都言語 聴覚士会の ニュース、 HP	都民の医療・保険・福祉の増進を目的とし、これから訪問を始めるPT・OT・STに向けた、評価、プログラム、リスク管理を柱にした研修会を開催した。研修会の趣旨としては訪問分野で従事する人材を増やし、その質を高めることとした。毎年実施してきた実務者研修会に加え、初任者研修会を増やしたことで、今まで受講していなかった方々が受講することになり、訪問分野への関心を高め、従事者を増やすことに貢献できる可能性がより高まった。 プログラム、講師については以下の通り。 1.訪問リハビリテーションにおける評価 講師：中本久之(作業療法士 帝京平成大学 助教) 2.グループワーク 活動・参加にむけたプログラム 講師：神原舞子(理学療法士 訪問看護ステーション・青い空) 3.訪問リハビリテーションにおけるリスク管理 講師：堀田富士子(医師 東京都リハビリテーション病院 科長)
市区町村介護認定審査員及び障害認定審査員の推薦事業	福祉保健局	1	35 相談・ 助言	委託事業	主催事業	随時		理学療法士 うち都士会員		都士会 ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉関係の増進を目的とし、専門家で構成する介護認定審査員及び障害認定審査員の推薦事業を行った。活動としては市区町村介護認定審査員及び障害認定審査員の派遣依頼が来た市区町村へ適任の理学療法士を選出し、会長の承認及び適任者の承諾を得た上で先方へ推薦状を出した。 今年度は北区障害認定審査員(平成29年度より2名)、北区介護認定審査員(平成29年度より5名)、江東区介護認定審査員(平成29年度より2名)、豊島区介護認定審査員(平成29年度より委員交代1名含む3名)、葛飾区障害認定審査員(平成29年度より1名)、江戸川区介護認定審査員(平成29年度より4名)、西東京市介護認定審査員(平成29年度より2名)、西東京市障害認定審査員(平成29年度より2名)、福生市介護認定審査員(平成29年度より3名)、福生市障害認定審査員(平成29年度より1名)、文京区障害認定審査員(平成29年度より1名)、清瀬市障害認定審査員(平成29年度より2名)、板橋区介護認定審査員(平成29年度より新規2名含む13名)を東京都理学療法士協会から推薦した(任期2年)。
市区町村及び公共性のある団体からの保健・福祉関連事業における相談事業	福祉保健局	1	35 相談・ 助言	委託事業	主催事業	平成27年4月2日、23日、5月21日、28日、6月6日、25日、7月2日、23日、8月20日、9月3日、24日、10月8日、22日、11月5日、13日、26日、12月3日、25日、平成29年1月7日、28日、2月4日、25日、3月4日、3月25日	社会医学技術学院 練馬障害者支援 ホーム みやした公園	一般都民 障がい者・家族 理学療法士 うち都士会員	(11/13) 700名 各日6~18名 各日1~3名 各日1~3名	都士会 ニュース	都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するため、都内在住の障害者とその家族の方を対象に理学療法に関する相談・助言事業、「パディオワーク東京2016」への協力事業を実施した。 障害者とその家族の方を対象にした相談・助言事業では、自分で行える運動方法の指導や障害部位の改善方法の提案、介護する家族への介助指導などを行った。さらに、レクリエーションや情報交換を行う場を提供し、活動と参加を促す援助をした。「パディオワーク東京2016」への協力事業では、小児福祉部が中心となり、当日20人以上のダウン症の子ども達、保護者に運動方法や福祉機器の紹介、相談業務を行った。
出張型体力測定会	健康増進部	1	35 相談・ 助言	自主事業	主催事業	平成29年3月4日	萩山文化センター(萩山文化会館)	一般都民 理学療法士	57名 11名	その他	都民の医療・保険・福祉の増進を目的とし、相談会を開催した。相談会の実施内容は以下の通り。 1、体力測定 ①握力 ②歩行速度 ③TUG ④立ち上がり 2、相談会 1の結果を基に体力向上に向け理学療法士が個別指導を実施
渉外局ホームページからの相談対応	渉外局	1	35 相談・ 助言	自主事業	主催事業	随時	玉川病院	理学療法士 うち都士会員	各複数名	都士会HP サーバー作 成しHPに情 報提供 質 問も可能な 態勢を作る	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に関する事業として、都内在勤の理学療法士の現状把握や法定も含めた診療報酬・介護報酬等に関する情報収集を行い、都民からの問い合わせに窓口を運営し、迅速に対応できる体制を整備した。また関連他団体等や渉外局各部署との連携を強化連携をすることにより、理学療法士の質の向上をはかり、広く都民の医療、保健、福祉について貢献した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

障害者スポーツセンター 施設・競技練習会 見学研修会	障がい者スポーツ部	1	34 体験活動等	自主事業 主権事業	平成28年9月7日、11月5日	社会医学技術学院、東京都障害者総合スポーツセンター	理学療法士 うち都士会員	各日7～16名 各日7～15名	都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、東京都障害者総合スポーツセンターの施設や、練習会を見学。また、陸上競技やボッチャの競技特性やクラス分けの講義、センター利用者の体験談や意見交換を実施した。事業を開催するにあたり、9月7日に部会開催、10月28日に東京都障害者スポーツセンターの講師や担当者と打ち合わせを開催した。
生活期共通評価表「都三士会通所系リハ評価表」の作成および普及啓発に関する事業	生活期共通評価表作成委員会	1	36 調査・資料収集	自主事業 主権事業	平成28年10月24日 平成29年2月20日	帝京平成大学 首都医校	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	各日15～90名 各日11～50名 各日11～48名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、東京都理学療法士協会・東京都作業療法士会・東京都言語聴覚士の三士会合同により、生活期における通所リハ評価表「都三士会通所系リハ評価表チェックポイントシート」の作成を行った。 「リハビリテーションマネジメント加算におけるリハビリテーション計画書（アセスメント）記載マニュアルver.1.0」を発行し、関係各所に送付した。
生活期共通評価表「都三士会通所系リハ評価表」の作成および普及啓発に関する事業	生活期共通評価表作成委員会	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業 主権事業	平成28年10月24日 平成29年2月20日	帝京平成大学 首都医校	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	各日15～90名 各日11～50名 各日11～48名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、東京都理学療法士協会・東京都作業療法士会・東京都言語聴覚士の三士会合同により、生活期における通所リハ評価表「都三士会通所系リハ評価表チェックポイントシート」ならびに、「リハビリテーションマネジメント加算におけるリハビリテーション計画書（アセスメント）記載マニュアルver.1.0」を用いて研修会を実施した。
生活期共通評価表「都三士会訪問リハ評価表」の見直しおよび普及啓発に関する事業	生活期共通評価表作成委員会	1	36 調査・資料収集	自主事業 主権事業	平成28年12月27日 平成29年3月14日	りは職人	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	各日5名 各日3名 各日1～3名	都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、東京都理学療法士協会・東京都作業療法士会・東京都言語聴覚士の三士会合同による、生活期における訪問リハビリテーション共通評価表の普及啓発のための評価表事例収集ならびに見直しのためのアンケート調査を行った。
他団体との交流、協力に関する事業	渉外局	1	35 相談・助言	自主事業 共催事業	平成29年3月24日、29日	帝国ホテル、ベルサール八重洲	理学療法士 うち都士会員	各日1名 各日1名	その他 東京糖尿病指導士、設立委員から広報	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に関する事業として、医療・保健・福祉関係団体や障害者団体（障害者スポーツ団体）と連携協力することにより都民の公益に寄与することを目的として、他団体が主催する事業への力・支援を行う。今年度は東京糖尿病療養指導士認定機構より、幹事推薦を受け、済生会中央病院の新井保久氏を推薦し、各活動に参加していただいた。
第1回 都民の声委員会 会議	都民の声委員会	1	35 相談・助言	自主事業 主権事業	平成28年10月17日	R3C会議室（新宿）	理学療法士 うち都士会員	16名 16名		理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、都民からの相談内容についての報告を実施した。 相談内容 ・理学療法の適応についての相談 例：骨盤底筋にアプローチしている病院・施設はあるか。 ⇒士会HPより、リハマップ参照の紹介 ・理学療法士に関する職域についての助言 例：企業との連携により大規模な事業展開をするべきとの助言を頂く。 ⇒委員から現行状況や要望等の情報収集
第2回 都民の声委員会 会議	都民の声委員会	1	35 相談・助言	自主事業 主権事業	平成29年1月13日	R3C会議室（新宿）	理学療法士 うち都士会員	18名 18名		理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、都民からの相談内容についての報告を実施した。 相談内容 ・理学療法の適応についての相談 例：PTが担当することができる嚥下訓練以外の摂食機能療法には、具体的にどんなものがあるのか。 ⇒ ① 定額訓練、② 座位保持訓練、③ 開口訓練、④ 咀嚼（噛む）訓練、⑤ その他 ・理学療法士に関する職域についての助言 例：前回会議（10/17）を踏まえて、今後、関係行政担当者、関連企業、その他の医療職種との情報交換の場を設け、理学療法の職域拡充による都民の医療・保健・福祉の増進をこととなった。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

第35回東京都理学療法学会学術大会 都民公開講座	第35回都 士会学会 準備委員 会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事 業	主催事 業	平成28年6月19日	東京医療学院大 学	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	196名 9名 764名 710名	都士会HP 都士会 ニュース その他 研修会等 でのチラシの 配布 ケママネ連 絡等でのチ ラシの配布	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するため、学術大会内で都民に対する公開講座を実施した。「認知症の正しい理解と対応」をテーマに(医)光生会南多摩医療認知症疾患医療センター平川病院(医)博朋会神経科精神科ひらかわクリニック理事長平川博之先生に講演していただいた。講演内容は、「かな拾いテスト」などの体験も含め、一般の方にもわかりやすい内容であった。この講演に多くの都民が参加し、講演後も活発な質疑も行われ、認知症に対する関心の高さを感じる公開講座であった。
第4回 災害時リハビリテーション啓発研修会	災害対策 委員会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事 業	共催事 業	平成29年2月24日	首都医校	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	2名 19名 34名 3名	都士会HP、 都士会 ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、災害リハビリテーション啓発研修会を実施した。熊本地震の支援活動の経験をもとに、三士会それぞれの視点から災害対策の現状とこれからの活動についてご講演頂き、非常に有意義なものとなった。具体的な研修会の内容は、「日本赤十字社DMATの体制」、「東日本大震災時の石巻赤十字病院の初動について」、「武蔵野市の防災訓練に参加して」、「災害時救護班としてのリハ職の関わり」、「熊本地震での活動について」をご講演頂きました。今後は、三士会のみならず、関係機関と密に連携し、災害対策の基盤づくりを進めていきたい。
地域包括ケアシステムに関するリーダー制度 導入研修及び士会指定事業	地域包括 ケアシス テム推 進委員 会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事 業	主催事 業	平成28年4月24日、7 月18日、11月20日、 平成29年2月25日	社会医学技術学 院、臨床福祉専 門学校、東京医 科歯科大学、首 都医校	理学療法士 うち都士会員	各日41～81名 各日32～72名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、地域包括ケアシステム推進の導入研修：4月・11月の2回実施した。地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護予防の視点を持ち、都民の保健・福祉と健康増進ができるように、地域リハビリテーションに関わる理学療法士を育成する事業である。個別ケア会議で、疾患の特徴や生活機能のアセスメントから自立支援のアドバイスができるよう、ケア会議の演習を取り入れ、より実践的に行った。
都士会ホームページ 維持管理	外宣部	1	39 展示 会(○ ○)	自主事 業	主催事 業	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日	社会医学技術学 院	理学療法士 うち都士会員	5名 5名	都士会HP 都士会 ニュース その他	都民の医療・保健・福祉の増進を目的とし、都士会ホームページの維持管理を行った。管理状況としては各種イベント案内、研修会案内、事業報告、定款、学会案内など会員、都民に向けたホームページ運営を実施した。
都内各地域におけるスポーツサポート活動調査	国際競技 大会・ス ポーツ理 学療法推 進部	1	36 調 査・資 料取 集	自主事 業	主催事 業	平成29年2月16日、3 月7日	東京体育館第2 会議室、東京都 バレーボール協 会事務局	理学療法士 うち都士会員	各日4～30名 各日4～30名	各ブロック 世話人代表 へスポーツ 担当を選出 依頼のメー ル配信	理学療法を通じて、当会のスポーツ活動振興および各ブロックとの連携を目的に、各ブロックスポーツ担当者に向けてスポーツ局長並びにスポーツ局各部長より活動理念や事業報告、今後の事業計画等の説明会が行われた。本シンポジウムには東京都士会長や事務局長、ブロック担当者へ出席され、スポーツ局とブロック担当者間にて、来年度以降のスポーツ活動計画について意見交換が行われた。また、東京都バレーボール協会常務理事及び専務理事と対談し、スポーツ局の理念や活動報告、今後の事業予定等が話し合われた。
表彰対象者リスト資料作成	表彰審査 委員会	1	36 調 査・資 料取 集	自主事 業	主催事 業	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日	東京慈恵会医科 大学附属病院	理学療法士 うち都士会員	6名 6名	推薦者の決 定後、都士 会ホーム ページで公 開する。	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、理学療法士がリハビリテーション専門職として過剰地医療・小児医療・社会福祉などに重要な役割を担っていることを広く都民に啓発するために、国・都または各種団体が主催する表彰事業に関して協力して、表彰事業に応募するための理学療法士の個人または団体における業績を調査して、資料を整理した。人選については、本会会員暦25年以上の理学療法士を中心に広く推薦する会員について検討した。
平成28年度北多摩ブロック吸引研修会	業務推 進部	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事 業	主催事 業	平成28年11月8日、15 日	専門学校社会医 学技術学院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	各日6名 各日43名 各日39名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するため、吸引研修会(座学・実技)を開催した。具体的には、地域で働く理学療法士等が気管吸引に必要な知識と技術講習を実施した。講師は、南雲健吾氏(リハビリ企画合同会社) 寄木恵輔氏(国立精神・神経医療センター) および他8名に依頼した。
理学療法に関する相談・助言会	理学療法 地位向上 委員会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事 業	主催事 業	平成28年6月25日	東京都理学療法 士協会事務局	理学療法士 うち都士会員	15名 15名	都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、「理学療法に関する相談・助言会」における接遇研修会を開催した。講師に豊田輝氏を迎え、電話と事務所内対応という形式をとった。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

(2) 理学療法における学術及び科学技術の振興に資する事業											
第36回東京都理学療法学会大会	次年度学術大会準備委員会	2	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	2017/1/13～2/10	練馬文化センター	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	500名	都士会HP 都士会 ニュース 研修会等でのチラシの配布 ケアマネ連絡等でのチラシの配布	理学療法士の学術及び科学技術の振興のために、理学療法士の学術的および臨床面の強化と研修するため学術大会を開催する(平成29年6月18日開催予定)。会員より一般演題を募り、準備委員会が指定した査読者の結果を踏まえ、一般演題発表を実施した。発表は口述発表40題、ポスター演題8題を予定している。
機器開発助成	PT関連機器開発委員会	2	43 助成(応募型)	自主事業	主催事業	平成28年8月25日～12月22日	都士会HP	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	0名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法における学術及び科学技術の振興に資する事業として、一般都民、他職種、理学療法士を対象に、快適な日常生活を送るための道具及び身体を動かしやすくするための道具のアイデア・試作品を募集した。今年度は、応募者0人であった。
研究助成	研究推進部	2	43 助成(応募型)	自主事業	主催事業	平成28年7月6日、9月12日	慶応義塾大学病院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	各日1名 各日4名 各日4名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法における学術及び科学技術の振興に資する事業として、研究助成公募によって申請のあった研究計画について、選考会議で申請内容を匿名化したうえで審議し、理事会にて助成採択を決定し、助成交付を行った。第1回募集で3件の募集に対し3件、追加募集で1件の申請に対し1件の助成交付を行った。
研究推進相談事業	研究推進部	2	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成28年4月12日	慶応義塾大学病院	理学療法士 うち都士会員	4名 4名	都士会 ニュース	理学療法における学術及び科学技術の振興に資する事業として、本年度から理学療法に関する研究相談受付方法を変更し、Web上にて受付、助言を行うこととした。具体的には、インターネットアンケート調査システムであるSurvey Monkeyを使用し、①申請者情報②相談項目③研究テーマ④相談内容についてWeb上で記入・送信するフォーマットを作成し、都士会ホームページに掲載した結果、15名からの相談があった。主な相談内容は、具体的な研究計画の書き方や今後の展望について、その他、統計処理についての相談が多かった。
平成28年度 第7回北多摩ブロック学術集会	業務推進部	2	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年2月19日	杏林大学 井の頭キャンパス	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	5名 14名 106名 98名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法における学術及び科学技術の振興に資するため、北多摩ブロックでの学術集會を開催した。参加者は125名(一般都民・他職種を含む)であった。本事業は、理学療法士の学術ならびに臨床的技術の向上および理学療法士の人材育成を図ることを目的として、理学療法に関する基礎研究・臨床研究の成果についての発表がなされた(一般演題:55演題)。また、特別講演として本会会長 森島健氏に「地域に暮らす障害を持たれた方々から学ぶこと」と題し、理学療法士としての考え方、進め方、症例検討の大切さや、人との接し方など、若手理学療法士にとって明日から業務に活かせる内容の講演であった。
(3) 地域社会の健全な発展を目的とする事業											
PTフェスタ2016	外宣部	3	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成28年7月30日	東京都庁45階南展望室	一般都民 理学療法士 うち都士会員	1500名 15名 15名	都士会HP 都士会 ニュース	地域社会の健全な発展を目的とし、都庁展望室を使用し都民に対して理学療法の啓蒙を兼ねた相談事業を実施した。会場内では、理学療法士の活動紹介を記したパネルを展示するとともにチラシを作成し来場者に配布した。また、個別相談コーナーでは、理学療法士の専門的な見解を伺いたい、理学療法を受けたいにはどのような手続きが必要か、高齢者の介護をしているが、移乗動作介助に困っているため専門的な技術を学びたいなど多種多様な相談に対応した。相談には、本会会員である理学療法士が個別に対応した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

平成27年度千葉県理学療法士学会での活動報告発表及び調査・資料収集	災害対策委員会	3	36 調査・資料 収集	自主事業		平成28年3月27日	君津中央病院附属看護学校	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	0名 0名 16名 1名	都士会HP	地域社会の健全な発展を目的とし、近隣（関東圏）における理学療法災害対策について調査を実施した。 【調査内容】 ・東京都の安否確認システムについて 近隣県でも注目している本会のシステムだが、更なる参加率を上げるため対策について情報提供を求めた。費用面について、実施会員について等運用面での質問が多く挙がった。 ・行政との連携について 行政と連携を図るために、他県における自治体との連携方法について調査した。 ・地域JIRATについて リハ医とPT、OT、STがNs、CM等の団体に協力要請をして進めている。医師会の連携を図るために他県での活動状況について調査した。 これらの情報は、具体的な事業展開の際に対策として生かす予定である。
学童・少年軟式野球大会に関わる人材の育成事業	スポーツイベントサポート部	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年11月2日、11月19日、12月8日	東京明日佳病院、東都リハビリテーション学院	理学療法士 うち都士会員	各日5～16名 各日5～13名	都士会HP	地域社会の健全な発展を目的とし、学童・少年軟式野球大会に関わる人材育成事業を開催した。研修会はスポーツによる外傷や成長期疾患の理解、またそれに対する応急手当や予防を行うことのできる療法士の育成を図った。研修会開催にあたり事前会議を実施し、11月19日に東都リハビリテーション学院にて研修会を実施した。研修会内容は以下の通りである。 会期：H28年11月19日（土） 場所：東都リハビリテーション学院 講師/内容：渡邊幹彦先生（東京明日佳病院院長）/投球障害について 石井齊先生（スポーツイベントサポート部長）/理学療法士のスポーツ現場での活動 参加者：16名（内訳：都士会員13名、他県士会員3名）
区中央部・区南部・島しょブロック地域包括支援推進事業	業務推進部	3	38 イベント（〇月間）	自主事業	主催事業	平成29年2月10日、3月29日	郷生会研修センター 大田区消費者生活センター	理学療法士 うち都士会員	30名 30名	ハガキ、便箋による郵送	地域社会の健全な発展に資するため、都民に対して理学療法の啓蒙を兼ねた相談事業および体操教室をおよび研修会を台東区支部、大田区支部にて実施した。同区内を中心とした理学療法士による都民に向けて有益になる情報共有及び地域自治体との関わりや地域住民に対する情報提供等、今後の発展に寄与する研修会となった。
熊本震災支援活動報告	災害対策委員会	3	36 調査・資料 収集	自主事業	共催事業	平成28年5月19日～23日	熊本県嘉島町	理学療法士 うち都士会員	2名 2名	都士会 ニュース	地域社会の健全な発展を目的に、平成28年4月に発生した熊本地震の支援活動に5月19日～5月23日の5日間参加した。本地震では益城町・嘉島町に重篤な被害を受け、今回は嘉島町へ理学療法士2名にて震災活動に参加した。 今回の活動には、全国から医師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・介護士・栄養士等の医療スタッフが支援活動参加しており、職種間で毎日カンファレス・情報共有しながら避難者の支援を行った。 実際の活動内容としては、不活動状態の避難者を対象に①医師による診察②理学療法士による身体機能評価③活動（運動）促進による不活動の予防④手すりの設置やベッドの導入など避難所の環境整備を主に行った。食事などの生活支援がある避難所から今後の生活の自立や仮設住宅へ移行の際の不活動による廃用症候群を予防することも非常に重要で、また深部静脈血栓症や褥瘡の予防など二次的な被害防止の重要性も感じた。 今回の活動では災害発生時に求められる対応と被災現場の実情を経験し、災害対策委員会としましても突如、発生する自然災害に対して適切な対応と日々の体制づくりを改めて検討させて頂きたい。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

三士会合同地域ケア会議及び介護予防計画に対応する人材育成研修会	地域包括ケアシステム推進委員会	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年6月22日、9月29日、11月21日、平成29年2月9日、3月16日	練馬区ホールコネリ、東京医科大学、板橋区立文化会館他、首都医校	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	各日15～50名 各日20～65名 各日20～62名	都士会HP、アドバンス研修会：都の現任研修修了者・地域リハ支援センターに個別に郵送 東京都介護予防推進会議：ブロック世話人・導入研修修了者・各支部長等にメールでお知らせ	(1)アドバンス研修会：東京都地域リハビリテーション専門人材育成研修現任研修修了者・地域リハビリテーション支援センター職員に対して、実際の地域リハの運営に関わり、どの地域でもリハ専門職の支援が受けられるようにすること、そのサービスの質が保たれることを目的に、研修を行った。先駆的に地域活動を行っている地域(世田谷区・墨田区・日守町)で、地域リハ活動に関わっているPTと東京都高齢社会対策部在宅支援課から講演。それをもとに情報交換・質疑応答を行った。 (2)東京都介護予防推進会議：第1回6月22日、第2回11月21日、第3回2月9日。 都が自治体職員(介護予防事業担当)を対象に開催している研修及び情報交換会。そこに、理学療法士を派遣することで、介護予防事業から総合事業への円滑な移行、多様なサービスの創出により、どの地域の住民も住みなれた場所でできるだけ元気に生き生きといっまでも暮らしていけるようにするための支援ができるようにする。
地域包括ケアシステムに関するリーダー制度 導入研修及び士会指定事業	地域包括ケアシステム推進委員会	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年4月24日、7月18日、11月20日、平成29年2月25日	社会医学技術学院、臨床福祉専門学校、東京医科大学、首都医校	理学療法士 うち都士会員	各日41～81名 各日32～72名	都士会HP 都士会 ニュース	地域社会の健全な発展を目的として、介護予防推進の導入研修を7月・2月の2回実施した。 平成27年の介護保険の改定で、『国民が自ら介護予防に取り組むこと』が唱えられた。都民が介護予防に自ら取り組めるよう、自治体と連携して支援するべく人材育成を行う。介護予防事業の企画・運営についてマネジメントするなど、実践的な研修を行った。
地域包括ケアシステムに関する人材育成研修会	地域包括ケアシステム推進委員会	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年12月13日、平成29年3月23日	社会医学技術学院、日本リハビリテーション専門学校	理学療法士 うち都士会員	(12/13) 72名 (3/23) 71名	都士会HP、他の研修会で案内を配布、導入研修受講者へメールで案内送付	地域社会の健全な発展を目的として、地域包括ケアシステムに関する人材育成研修会を実施した。第1回フォローアップ研修会：地域包括ケアシステムに向けて総合事業に対して、都内のどの地域でも、理学療法士が地域リハ支援事業に参加し、地域からのご要望に対応できるよう実践的な研修を行った。地域包括ケアリーダー制度の導入研修修了者に対し、自治体の求める事業や健康講座を想定し、企画・運営の立案等をグループワークで作成、プレゼンテーションなどの研修を行った。 第2回フォローアップ研修会：各地域での総合事業への移行が進んできていることを受け、東京都と連携し、理学療法士の専門性を高める研修会を行った。この中で理学療法士および作業療法士、言語聴覚士の専門性を理解し、各専門職間での協働を図るほか、自治体とリハ専門職の連携を促進できるような内容とした。具体的には、第1部「地域包括ケアシステム構築に向けて」と題して、本会・東京都作業療法士会・東京都言語聴覚士会の活動と今後の展開について各士会においてこの分野に精通する方にご講演をいただいた。また、第2部では、「地域で活動する時の問題点」と題して、参加によるグループディスカッションを行った。
被災地域から学ぶ地域支援事業	福祉保健局	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年11月23日	首都医校	その他医療従事者 理学療法士	1名 22名	都士会HP 各研修会で配布、OT士会・ST士会HPで研修会案内掲載	地域社会の健全な発展を目的とし、講演と講演者および参加者による意見交換会を開催した。地域包括に向けた地域づくりが、災害時に顔が見える対応を可能とすることを、実際に被災地で復興の過程で通所サービスを行ってきた橋本先生、神奈川県士会の災害対策委員会委員の下田先生に講演をしていただき、参加者を含めて意見交換を行った。詳細は以下の通り。 講義1. 東日本震災の支援活動から始めた宮城県石巻市での地域リハビリテーション 講師 一般社団法人りぶらす代表理事 橋本大吾先生 講義2. 地域防災におけるリハビリテーションが果たす役割 講師 神奈川県士会災害対策委員会 下田 栄次先生

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

平成28年 北多摩ブロック 多職種連携セミナー	業務推進部	3	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年10月15日	小金井こもれびホール	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 32名 8名 8名	都士会HP 都士会 ニュース 近隣施設へのチラシ配布	地域社会の健全な発展を目的とし、研修会を開催した。地域包括ケアシステム構築が進み、より医療と在宅・介護への円滑な移行と適切な退院後の生活を送るため、多職種連携による退院調整が重要となる。しかし、実際の現場では訪問リハビリテーションスタッフの参加率が少ないなど、多職種連携が不十分な状態である。そこで、小金井市周辺で働く多職種との連携を深めるため、研修会を通じて退院調整による多職種の関わり合い方を学び、グループワークにより地域の退院調整の問題点を意見交換し、多職種連携による退院調整促進を目的とする研修会を実施した。  講師：国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 在宅支援室 緩和ケア認定看護師/退院支援看護師 花井亜紀子 先生  内容：第1部 基調講演「多職種連携で支える退院調整～病院から地域への在宅療養移行支援～」 60分 講師 花井 亜紀子先生 第2部 グループディスカッション ～事例を通して～ ディスカッション60分 発表30分
平成28年度 島しょ視察・調査・報告・交流事業	業務推進部	3	36調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成28年10月29日	神津島開発センター	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	99名 2名 5名 5名	神津島健康福祉まつり関係者による島民への広報	地域社会の健全な発展に資するため、東京都理学療法士協会の島しょ地域における理学療法士の活動状況を調査した。今回の視察地は今年度から常勤理学療法士が赴任した神津島とし、神津島における理学療法士の活動状況と島しょで働く理学療法士からの要望について調査した。また同日神津島で開催された「健康・福祉まつり」に参加し、理学療法士の業務を援助するとともに、神津島の島民への健康指導を実施した。会場ではロコモティブシンドロームの評価を実施し、結果をもとに日常の運動指導を実施した。当日は大人76名、子ども23名の参加があった。また、島しょで働く理学療法士の現状について、新島に赴任している理学療法士も交え、情報交換会を実施。いまだに理学療法士という職業が島民に浸透していない現状や、今後島しょで行う理学療法士の活動への協力要請、また、島民向けの勉強会の講師依頼があった。今後のブロック活動、協会活動を通じて連絡を取り合い継続した情報交換および具体的なサポート体制を検討していくための重要な視察となった。
平成28年度区中央部区南部島しょブロック研修会	業務推進部	3	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年3月12日	東京慈恵会医科大学 1号館5階講堂	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	66名 66名 64名	都士会HP 都士会 ニュース タグシールにてはがきを送付	地域社会の健全な発展を目的とするため、平成28年度区中央部区南部島しょブロック研修会を開催した。 (公社)東京都理学療法士協会として、各区市町村での支部化が進んでいるが、地域包括ケアシステム参画に向け、行政との連携がスムーズに取れている所と、うまく行かない、どのように連携を進めればよいかわからない所との差があり、今回の研修会にて情報共有を行うことでそのギャップを埋めることを目的とした。 前半90分は、「地域包括ケアシステム参画のポイントと東京都の最新動向」として理事の田代先生より、地域包括ケアの概論と、各介護予防サービス形態の自治体側の意図についてわかりやすくご教授いただいた。 後半90分では、すでに活動を開始している都内8支部の活動報告を通じて、自治体との接点の持ち方や組織化の方法や意義を伺え、また実際に連携して委託事業を開始した事例などが報告され、これから支部化を考えている区会員も、現在活動中の会員にも、今後の活動発展にヒントを与える内容となった。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

理学療法の日 全国一斉開催「介護予防・健康増進キャンペーン」理学療法の日～運動で元気に健康に～	業務推進部	3	38 キャン ペーン (○月 間)	自主事 業	主催事 業	平成28年7月17日	大田区産業プラ ザP10	一般都民 理学療法士 うち都士会員	86名 38名 38名	都士会IP 都士会 ニュース 東京都、大 田区役所、 さわやかサ ポートセン ター、大田 区報、大田 区内病院や クリニック でのポス ター掲示	地域社会の健全な発展に資するため、都民に対して理学療法の啓蒙を兼ねた相談事業および体操教室、講演を実施。具体的には理学療法士による健康体操教室、身体や介護に対しての個別相談ブースを設け、都民の声に答えた。なお、個別相談ブースでは、本会会員である理学療法士が個別に対応した。講演では地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの大淵修一先生を招いて「健康寿命の延ばし方」のご講演をいただいた。
(4) 高齢者の福祉の向上を目的とする事業											
「介護の日」イベント協力事業	福祉保健局	4	34 体験 活動等	自主事 業	共催事 業	平成28年11月11日	西東京市アスタ	一般都民 理学療法士 うち都士会員	30名 7名 7名	都士会IP 都士会 ニュース 市報 パンフレッ ト	高齢者の福祉の向上を目的とし、西東京市主催の「介護の日」イベントの協力事業として、フレイルチェック、高齢者疑似体験(14時30分～16時00分まで)を実施した。フレイルチェックでは、50～80歳代の市民18名、高齢者疑似体験では20～50歳代の市民5名が参加した。フレイルチェックでは、体重減少、身体活動量、疲労感、握力、歩行速度の5項目を評価し、18名中、10名がプレフレイル、6名がフレイルという結果だった。特に体重減少、疲労感、握力の項目が低下している傾向にあった。フレイルチェックの5項目の他にフィジカルフレイルの評価としてTUG、CS30を加え、また老研式活動能力指標を用いて、活動能力の評価を行った。評価後、市民に日本理学療法士協会発行の介護予防冊子を配布し運動指導などを行った。
ふれあいフェスティバル 健康まつり リハビリ相談・介護予防体験コーナー	成人福祉部	4	34 体験 活動等	自主事 業	共催事 業	平成28年10月30日	福生市市営野球場	一般都民 理学療法士 うち都士会員	125名 21名 21名	健康まつりの パンフレット ・ポスター への記載、市 広報誌への掲 載 健康まつりの パンフレット は市役所、市 行政機関及び 各保健福祉機 関に配布。来 室した都民の 方に自由にた だく	高齢者の福祉の向上を目的に、介護予防体験会を実施した。65歳未満の方にはCS30テストを加えて行い、体力の説明をした。さらに詳しい説明が必要な方には、相談コーナーへ誘導し、リハビリ相談を行ったが、若年層でのリハビリ相談はなかった。参加者は125名(男性31名、女性94名)であった。
各市区町村介護予防事業等への講師等紹介	業務推進部	4	33 講座、 セミナー、 育成	自主事 業	主催事 業	平成28年4月1日～平成29年3月31日	多摩丘陵病院他	理学療法士		都士会IP その他	高齢者の福祉の向上のため、各市区町村介護予防事業等への講師等紹介することを目的とした研修会等を各地で実施する。まずは、ブロック単位では地域が広すぎるため、各市区町村単位での理学療法士の集まりである支部を立ち上げ、その地域で活躍する理学療法士の育成を行う。今年度は、そのための支部の立ち上げ、研修会の準備を実施した。来年度以降、各地で理学療法士向けの研修会や公開講座が開催される予定である。
各市区町村介護予防事業等への講師等紹介(各ブロック共通)	業務推進部	4	33 講座、 セミナー、 育成	自主事 業	主催事 業	平成28年4月1日～平成29年3月31日	多摩丘陵病院他	理学療法士		都士会IP 都士会 ニュース その他	高齢者の福祉の向上のため、各市区町村介護予防事業等への講師等紹介することを目的とした研修会等を各地で実施する。まずは、ブロック単位では地域が広すぎるため、各市区町村単位での理学療法士の集まりである支部を立ち上げ、その地域で活躍する理学療法士の育成を行う。今年度は、そのための支部の立ち上げ、研修会の準備を実施した。来年度以降、各地で理学療法士向けの研修会や公開講座が開催される予定である。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

各市町村介護予防事業等への講師等紹介(区西南部区西部ブロック)	業務推進部	4	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年5月9日	ソフィア訪問看護ステーション会議室	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	2名 10名 8名	支部ネットワークの連絡網	高齢者の福祉の向上のため、各市町村介護予防事業等への講師等紹介することを目的とした研修会等を各地で実施する。先ずは、ブロック単位では地域が広すぎるため、各市町村単位での理学療法士の集まりである支部を立ち上げ、その地域で活躍する理学療法士の育成を行う。支部の活動を活性化するため、今年度は地域包括ケアシステムに関する研修会を行った。講演後、支部活動についての討議を行い、支部活動の活性化を図り、地域包括ケアの重要性の理解を深めていただいた。
研修会「介護保険領域における基礎研修会」	介護保険部	4	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年2月11日	中野サンプラザ	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	2名 1名 16名 14名	都士会IP	高齢者の福祉の向上を目的とし、研修会を開催した。対象は医療機関で働く比較的经验年数の浅い理学療法士等のリハビリテーション関連職種やその他の医療従事者、理学療法士養成校学生、一般都民を対象とした。内容は今後の需要増加が予想される介護保険領域でのリハビリテーションについて行い、実践的な知識・技術の習得を図った。
研修会「介護保険領域における卒後教育研修会」	介護保険部	4	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年1月26日	中野サンプラザ	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 2名 29名 24名	都士会IP	高齢者の福祉の向上を目的とし、研修会を開催した。対象は医療機関で働く比較的经验年数の浅い理学療法士等のリハビリテーション関連職種やその他の医療従事者、理学療法士養成校学生、一般都民を対象とした。内容は今後の需要増加が予想される介護保険領域でのリハビリテーションについて行い、実践的な知識・技術の習得を図った。
総合事業における調査・収集	リハビリテーション専門職連携推進委員会	4	36調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成29年2月1日～2月28日	事務局	理学療法士	342名	導入研修修了者へメールでアンケート	高齢者の福祉の向上を目的として、導入研修修了者へメールでアンケート行い、各地域での総合事業等への関わりについて調査した。 1. 目的：各市区町村での理学療法士の知己での活動状況等を明らかにし、今後の地域包括ケアシステム構築に向けての参考にする。 2. 調査期間：平成29年2月1日～2月28日 3. 調査対象：東京都理学療法士協会が実施した地域包括推進リーダー導入研修、介護予防推進リーダー導入研修の修了者（メールアドレスが確認できているもののみ）342人 4. 調査方法：調査票を添付メールにて送信、メールにて回答 5. 回収状況：回収数81、回収率23.7% 6. アンケート結果：支部化やセラピストの地域連携は進んできているが、行政との連携が不十分のため、地域活動に参加できていないセラピストが多かった。また、セラピストの地域活動は多岐にわたるため、リーダー導入研修の内容再考が必要だと考える。
東京ソーシャルフェス（高齢者に関するリハビリテーション）相談事業	高齢者福祉部	4	35相談・助言	自主事業	主催事業	平成28年11月13日	上智大学四谷キャンパス	一般都民 理学療法士 うち都士会員	1000名 11名 11名	youtube、企業がポスターを作成し電車や駅・養成校に添付、東京都のホームページ、一般新聞等	高齢者の福祉の向上を目的として、体験高齢者の福祉を担う介護者、介護従事者を支える東京都事業である「介護のコト」体験フェアへ協力した。実施内容は都民、介護者、介護従事者に対し、リハビリ相談や体験コーナーを設置した。具体的には、様々な条件下で立ち上がりを体験して頂き、理学療法士が専門的な知識を口頭やポスターにて解説した。また、身体機能面や家族の状況に対する悩みや問題の相談にも随時対応した。
福祉祭り リハビリ相談コーナー	成人福祉部	4	35相談・助言	自主事業	共催事業	平成28年10月2日	福生市福祉センター	一般都民 理学療法士 うち都士会員	19名 6名 6名	福祉まつりのパンフレット、ポスターへの記載、市広報誌掲載 パンフレットは福祉センター及び各保険福祉機関に配布。	高齢者の福祉の向上を目的とし、相談会を実施した。相談件数は男性10名、女性9名の計19名18件であった。相談者の年齢は50歳代から80歳代まで幅広く、相談内容も運動器疾患や循環器疾患の活動時での注意点や、日常生活での予防体操のことまで多岐にわたった。
(6) 障害者の支援を目的とする事業											

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

第16回 キッズフェスタ (子どもの福祉機器展) 出展 準備	小児福祉部	5	39 展示会 (○ ○ ショー)	自主事業 主催事業	平成28年11月21日、平成29年2月4日、2月17日、3月2日	上智大学 島田療育センター ターハちおうじ ルノール (新宿三丁目ビック スビル店) Café Miyama	理学療法士 うち都士会員	各日2~7名 各日2~7名	障害者の支援を目的とし、障がいを持ったお子さんやご家族の日常生活をより快適に過ごせるように情報を提供し支援を行った。 内容は以下の通り。 ・実際に使用しているアイディアグッズ情報の収集、資料作成 ・障がいのある子ども達の外出しやすさ情報をまとめた「お出かけマップ」作成の準備の情報収集実施 ・東京都PT・OT・STの三士会で合同セミナー開催準備の会議実施
子どもの福祉機器展	小児福祉部	5	39 展示会 (○ ○ ショー)	自主事業 主催事業	平成28年9月10日	エスフォルタアリーナ八王子	一般都民 理学療法士 うち都士会員	(9/10) 60名 各日7名 各日7名	都士会 ニュース ポスターを 作成し、小 児施設に掲 示、配布
障害者スポーツ実技研修会	障がい者スポーツ部	5	35 相談・助言	自主事業 主催事業	平成28年12月8日、平成29年2月5日、17日	東京都理学療法士協会 事務局、専門学校 社会医学技術学院	理学療法士 うち都士会員	各日5~28名 各日5~27名	都士会HP
障害者施策に対する研修会	福祉保健局	5	33 講座、セミナー、育成	自主事業 主催事業	平成29年2月18日	首都医校	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	11名 1名 25名 25名	都士会HP 都士会 ニュース OT士会・ ST士会HP P、東京新 聞
東京都小児リハビリテーションマップ 第2版作成準備	小児福祉部	5	36 調査・資料収集	自主事業 主催事業	平成28年7月2日、11月12日、12月17日、平成29年2月25日、3月7日	島田療育センター ターハちおうじ	理学療法士 うち都士会員	各日3~10名 各日3~10名	理学療法士の知識・技術向上を目的とし、平成26年度に完成した「東京都小児リハビリテーションマップ」の第2版作成に向けて活動した。 第2版では、再度東京都内の各病院、小児施設に加えて理学療法士が所属している訪問看護ステーションも対象として調査を実施。 掲載協力施設が75施設となり、平成29年度4月完成予定であり、都士会HPで公開予定。
東京都障害者スポーツ大会コンディショニングサポート事業	障がい者スポーツ部	5	35 相談・助言	自主事業 共催事業	平成28年5月28日、5月29日、	東京都障害者総合スポーツセンター、駒沢オリンピック公園総合運動場	一般都民 理学療法士 うち都士会員	各日13~60名 各日3~11名 各日3~11名	都士会HP

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

理学療法フェスタ ツブース出展	障害がい者 スポーツ 部	5	39 展示 会 (○ ○ ショ)	自主事 業	主催事 業	平成28年7月30日	社会医学技術学 院、東京都庁	理学療法士 うち都士会員	各日2～7名 各日2～7名	都士会HP	東京都民に対して障害者スポーツの理解・啓蒙を目的とし、7月30日に行われた理学療法フェスタにおいてポスター展示を実施した。展示内容は障害者スポーツの紹介や東京都理学療法士協会の活動について啓蒙を促すものとした。当日、会場には多くの参加者が集まり、ポスターを眺めたりパンフレットを手にしたり、理学療法士について質問をするなどの場面があった。
学校安全支援・ケガの予防事業	国際競技 大会・ス ポーツ理 学療法推 進部	6	36 調 査・ 資 料 集 集	自主事 業	主催事 業	平成28年7月9日、11日、13日、9月14日、12月9日、平成29年1月5日、2月9日、3月1日	帝京科学大学千 住キャンパス附 属図書館、産業 総合技術研究 所、富士見台小 学校、アットビ ジネスセンター 池袋駅前別館	理学療法士 うち都士会員	各日3～6名 各日3～6名		今年度は研究計画立案のためのデータ分析、共同研究先(産業技術総合研究所および豊島区立富士見台小学校)との打合せを行ったため広報活動は行っていない。 産業技術総合研究所人間情報研究部門デジタルヒューマン研究グループ(西田佳史先生・大野美喜子先生)との学校安全をテーマにした共同研究(富士見台プロジェクト)これにより理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目指す。 1) 日本スポーツ振興センターの災害共済給付データの分析により、東京都内小学校では体育授業の跳び箱体操で事故が多発しているとの結果を得た。 2) この結果から①跳び箱体操の動作観察、②事故原因となる動作を抽出、③事故予防プログラム立案、④介入の研究計画を立案した。 3) 介入にあたり豊島区立富士見台小学校の協力を得る事ができた。富士見小学校はWHOのインターナショナルセーフスクール認証校であり、豊島区内のモデル校である。 4) 産業技術総合研究所および富士見台小学校と共同で研究計画書を作成し来年度より介入研究を実施予定。
(6) 教育機関に協力し、健康並びに教育の向上に資する事業											
施設見学会(理学療法士の仕事を 知ろう)に関する事業	外宣部	6	34 体 験 活 動 等	自主事 業	主催事 業	平成28年8月1日～10月28日	都内各所(医 療・福祉施設)	一般都民	6名	都士会HP その他 東京都内各 都立高、私 立高にポス ターを配 布。	教育機関に協力し、健康並びに教育の向上に資するため、理学療法士を目指している高校生を主な対象として職場見学会を開催した。希望者の学業の都合と見学会受け入れ施設の日程を本会が調整し、理学療法士の役割などに関する基本的な資料は本会が作成し配布した。
車いす体験講座	公開講座 準備委員 会	6	33 講 座、 ビ ジ ナ、 育 成	自主事 業	主催事 業	平成28年6月14日	世田谷区立池之 上小学校	一般都民	58名	都士会HP	教育機関に協力し健康並びに教育の向上に資するため、世田谷区立池之上小学校6年生(48名)を対象に、車いす体験講座を実施した。まず冒頭に、車いすのパーツの名称、使用における注意点を説明したうえで、車いすを押す体験、介助される体験、自走する体験を行った。坂道、段差などの不整地やスラロームなども行ったが、児童からは車いすを扱う難しさや怖さ、また相手の気持ちに立って考えることが重要であるという声も聞かれた。公開授業ということで保護者も数名(約10名程度)参観されており、盛況に終えることができた。
出前公開講座 (テーマ:6年生:子供のスポーツ障 害の知識と今からできる予防策～あ なたは怪我しやすいからだ?～1年 生:からだのやわらかさをしよう)	公開講座 準備委員 会	6	33 講 座、 ビ ジ ナ、 育 成	自主事 業	主催事 業	平成28年10月8日	練馬区立光が丘 春の風小学校	一般都民 教員 小学生	188名(一般都 民・教員・保護 者・児童合わせ た延べ人数)	都士会HP	教育機関に協力し健康並びに教育の向上に資するため、練馬区立光が丘春の風小学校6年生67名(教員2名含)、1年生81名(教員3名含)、保護者2学年併せて30名を対象に、出張公開講座を実施した。6年生には、子供のスポーツ障害の知識と今からできる予防策～あなたは怪我しやすいからだ?～というテーマで、1年生にはからだのやわらかさをしようというテーマで実施した。セルフストレッチ、ペアストレッチを説明した後、実際にペアストレッチを体験していただき、理学療法上の専門性の一端に触れる公開講座を実施した。
出前公開講座 体の成長とスポーツ によるケガ～理学療法士の視点から～	公開講座 準備委員 会	6	33 講 座、 ビ ジ ナ、 育 成	自主事 業	主催事 業	平成29年2月4日	世田谷区立池ノ 上小学校	一般都民	20名	都士会HP	教育機関に協力し健康並びに教育の向上に資するため、世田谷区立池ノ上小学校で保護者や近隣小学校の養護教諭ら20名を対象に、出張公開講座を実施した。体の成長とスポーツによるケガ～理学療法士の視点から～というテーマで実施した。ゴールデンエイジ(9～11歳)での運動の大切さについて理学療法士の視点から保護者の皆様にお伝えし、成長期を向かえた子供の身体の変化から起こる疼痛や怪我についての基本知識、ケガの予防のためのストレッチや評価方法など実技をふまえて、実際に参加者とともに実施した。講演終了後は、多数の参加者から質問が寄せられ、子供の疼痛への評価方法や対策方法に関する具体的な相談に留まらず、参加者間での医療機関に関する体験記などをふまえた情報交換機会にもなった。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

(7) 理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究事業											
ニュースNo.198	広報部	7	36 調査・資料 収集	自主事業	主催事業	平成28年5月25日	社会医学技術学 院	会員・会員所属の 施設 理学療法士 うち都士会員	3名 3名 3名	都士会IP 都士会 ニュース・ 作成した刊 行物 (ニュー ス)を会員 等に郵送	理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究を目的とし、年間を通じて都内各地で開催される各種公開講座や研修会の開催案内及び報告等を本会発行刊行物(都士会ニュース等)に掲載し、広報活動を行った。
ニュースNo.199	広報部	7	37 調査・資料 収集	自主事業	主催事業	平成28年8月25日	社会医学技術学 院	会員・会員所属の 施設 理学療法士 うち都士会員	3名 3名 3名	都士会IP 都士会 ニュース・ 作成した刊 行物 (ニュー ス)を会員 等に郵送	理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究を目的とし、年間を通じて都内各地で開催される各種公開講座や研修会の開催案内及び報告等を本会発行刊行物(都士会ニュース等)に掲載し、広報活動を行った。
ニュースNo.200	広報部	7	36 調査・資料 収集	自主事業	主催事業	平成28年12月25日	社会医学技術学 院	会員・会員所属の 施設 理学療法士 うち都士会員	3名 3名 3名	都士会IP 都士会 ニュース・ 作成した刊 行物 (ニュー ス)を会員 等に郵送	理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究を目的とし、年間を通じて都内各地で開催される各種公開講座や研修会の開催案内及び報告等を本会発行刊行物(都士会ニュース等)に掲載し、広報活動を行った。
ニュースNo.201	広報部	7	36 調査・資料 収集	自主事業	主催事業	平成29年2月25日	社会医学技術学 院	会員・会員所属の 施設 理学療法士 うち都士会員	3名 3名 3名	都士会IP 都士会 ニュース・ 作成した刊 行物 (ニュー ス)を会員 等に郵送	理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究を目的とし、年間を通じて都内各地で開催される各種公開講座や研修会の開催案内及び報告等を本会発行刊行物(都士会ニュース等)に掲載し、広報活動を行った。
機関誌『理学療法東京 第5号』の 編集・発行	機関誌 編集部	7	36 調査・資料 収集	自主事業	主催事業	平成29年1月9日	東京女子医科大 学病院	理学療法士 うち都士会員	3~5名	都士会 ニュース、 都内の理学 療法士の知 識や学術的 な見識を高 める場があ ることを啓 蒙し、投稿 論文の募集	理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究を目的とし、東京都理学療法士協会機関誌『理学療法東京』を年1回、編集発行した。 刊行物を発行することで ・都内に勤務する理学療法士が知識や技術を得ることにより、 ・都民に対してよりよいリハビリテーションサービスが提供可能 ・経験の浅い都内勤務の理学療法士に投稿できる機会を提供することで、論文をまとめたり研究結果を発表するなど、都内理学療法士の質向上 ・東京都の理学療法の状況を機関誌を通して都内の理学療法士に広く知らせ、都民に対し均一したサービスの提供を図った。
国際大会における理学療法士のメ ディカルサポート活動の視察報告	国際競技 大会・ス ポーツ理 学療法推 進部	7	36 調査・資料 収集	自主事業	主催事業	平成28年8月15~21日	ブラジルリオデ ジャネイロ州	理学療法士 うち都士会員	名 2	都士会IP 都士会 ニュース	理学療法に関する刊行物の発行および調査研究のため、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた準備として、2016年8月15~21日の期間、ブラジル(リオデジャネイロ)にて開催された第31回オリンピック競技大会に理学療法士を派遣した。視察内容はオリンピック競技大会におけるボクシング・レスリングにおけるメディカルサービスの内容と設備について、また選手村総合診療所視察と大会組織委員会理学療法部門担当者からの情報収集にあたった。この調査報告内容については都士会ニュース及び日本理学療法士協会主催「オリ・パラ対策本部リオ五輪視察報告会」においても報告した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

都民への広報	広報部	7	36 調査・ 資料	自主事 業	主催事 業	平成28年9月9日、平 成29年2月11日	東都リハビリ テーション学院	理学療法士 うち都士会員	1名 1名	新聞掲載	理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究を目的とし、関連 事業等を東京新聞に掲載し、広報活動を行った。
(8) 理学療法士の知識・技術向上のための研修会開催等に関する事業											
オリンピック・パラリンピックに関 わる人材の育成事業	国際競技 大会・ス ポーツ理 学療法推 進部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事 業	主催事 業	平成28年4月24日、6 月25日、10月2日	臨床福祉専門学 校、首都医校、 ナショナルト レーニングセン ター研修室3	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	各日11～139名 各日1～6名 各日27～198名 各日2～196名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上のため、オリンピック・パラリン ピックに関わる人材育成事業を行った。オリンピック・パラ リンピックでメディカルサービスを提供するスタッフ養成事業と して、トップレベルのサービスが提供できる人材育成のための 研修会を3回行った。研修会の内容は以下のとおり。 1) 国際競技大会・スポーツ理学療法推進部主催 平成28年度 第1回研修会 講演：「スポーツ理学療法研修会—スポーツ現場に生かす解剖 学—」 講師：野田志樹先生（臨床福祉専門学校）・吉田俊太郎先生 （山田記念病院） 2) 公開セミナー（東京都理学療法士協会主催） 講演：「スポーツの理学療法 ～東京オリンピックに向けて～」 講師：原田 長先生（東京都理学療法士協会 スポーツ局） 3) 関東甲信越ブロックスポーツ推進事業研修会 ①「我が国におけるスポーツ理学療法の現状と課題」 講師：小林寛和先生（日本スポーツ理学療法学会代表幹事、 JPTAオリ・パラ対策本部 スポーツ推進部部長） ②「スポーツ理学療法の国際動向～東京オリ・パラにむけて～」 講師：片寄正樹先生（日本スポーツ理学療法学会 IFSPST担 当） ③「障がい者スポーツにおける理学療法の可能性—パラリン ピック競技サポートから地域活動を通して—」 講師：門田正久先生（公益社団法人日本障がい者スポーツ協 会 障がい者スポーツトレーナー部会長） ④「リオデジャネイロオリンピック視察報告」
スポーツ障害の理学療法に関わる人 材の育成事業	学校保健 部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事 業	主催事 業	平成28年10月22日、 29日	社会医学技術学 院	一般都民 理学療法士 うち都士会員	3名 20名 20名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上を目的とし、研修会を開催した。 22日：羽村市立羽村第3中学校教諭 高久かおり先生『中学校 と部活動—中学生の最大限の成長を目指して—』 学校保健部部長 伊東 彰 氏 『学校保健部の紹介』 参加人数 理学療法士 26名（都士会員 26名） 一般 4 名 29日：小平市立上水中学校養護教諭 加瀬涼子先生『成長期に おける運動時の傷害—中学校課内活動について—』 小平市立小平第1中学校養護教諭 石井景子先生『学校教育現 場の様子—生徒・保健室の実態について—』 学校保健部 小野寺 氏 『傷害の予防の基本となる姿勢の 話』 参加人数 理学療法士 20名（都士会員 20名） 一般 3名
モビライゼーションPNF手技を用いた リハビリテーション治療のEBMに基づ いた新たな戦略	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事 業	主催事 業	平成28年10月23日	首都大学東京荒川 キャンパス	理学療法士 うち都士会員	33名 12名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療 法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、脳 卒中片麻痺患者や整形外科的疾患患者へのリハビリテーション 治療（関節可動域の改善・ADLの改善）に対するEBMに基づいた新 たな治療戦略を身に付けるを目的として、モビライゼーション PNF手技に関する講義及び実技の講習会を開催した。講義は新 井光男先生と白谷智子先生の2名の先生に依頼した。公募方法 は、日本理学療法士協会HPと日本理学療法士協会HPおよび東京 都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集 した。
運動器疾患とPNF	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事 業	主催事 業	平成28年5月22日	首都大学東京荒川 キャンパス	理学療法士 うち都士会員	35名 18名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療 法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、運 動器とPNFに関する講義及び実技の講習会を開催した。講義は 柳澤健先生と新井光男先生の2名の先生に依頼した。公募方法 は、日本理学療法士協会HPと日本理学療法士協会HPおよび東京 都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集 した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

英語論文紹介	教材資料部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日	順天堂東京江東 高齢者医療セン ター	理学療法士 うち都士会員	6名 6名	都士会HP 機関誌「理 学療法東 京」	理学療法士の知識・技術向上のため、理学療法の知識や技術の向上に貢献する英語論文6本を日本語要約し、解説とともに紹介を行った。
頸関節症に対する徒手理学療法	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年2月4日～5日	首都大学東京 荒 川キャンパス 荒 運動療法室	理学療法士 うち都士会員	29名 11名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療 法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、2日間のプログラムで頸関節症に対する徒手理学療法に関する講義および実技を開催した。講師は竹井仁先生、遠藤優先生の2名の先生に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HP東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。
教材資料貸出	教材資料部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日	順天堂東京江東 高齢者医療セン ター	理学療法士 うち都士会員	33名 31名	都士会HP 都士会 ニュース、 機関紙「理 学療法東 京」	理学療法の知識や技術の向上に貢献するため、都士会所有の教材の貸出を行った。 東京都理学療法士学会のハンズオンセミナーをビデオ撮影し、新規教材の作成を行った。
胸椎・胸郭の理学療法	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年9月24日	法政大学 多摩 キャンパス	理学療法士 うち都士会員	33名 11名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療 法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、胸椎・胸郭の理学療法に関する講義及び実技の講習会を開催した。講義は安藤正志、中山彰博の2名の先生に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと日本理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。
筋膜リリース～基礎から応用～	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年9月20日～22 日	首都大学東京荒川 キャンパス	理学療法士 うち都士会員	45名 17名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療 法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、竹井仁先生、金子満寛先生、米間弘展先生、勝又泰貴先生に講師を依頼し、筋膜リリースの理論と技術について講習することを目的とし、筋膜配列に沿って運動検査と触診検査から筋膜の機能異常を評価し、四肢・体幹に対する基礎的な筋膜リリース手技から骨盤帯・頭頸部・頸関節機能異常などに対する筋膜リリース応用、小児に対する治療アプローチまでを講義した。
区西北部ブロック研修会① 理学療法研究・はじめの一步	業務推進部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年7月5日	帝京平成大学 池袋キャンパス	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	13名 2名 73名 72名	都士会HP 都士会 ニュース ご案内郵送	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、理学療法研究「はじめの一步」と題して美崎定也先生（苑田会人工関節センター病院リハビリテーション科科长）をお招きして講演を行なった。 当日は新人の先生方や学生さんにも多く参加頂き、臨床研究を行う上での症例検討の進め方について、詳しく御講演頂いた。 症例報告を行うにあたり、相手に伝わりやすくするためにどこに着目して進めていけば良いのかを知ることができ、実習中の学生にもとても分かりやすい内容であったと御好評頂いた。 当講演の狙いは当ブロックの若手職員への研究サポートであり、当ブロック学術集会や都士会学会への演題発表に繋げていくことを目標としている。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

区西北部ブロック研修会② リオオリンピックはこうだった!! ～『2020年東京』に向けて準備すべきものは～	業務推進部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年2月24日	帝京平成大学 池袋キャンパス	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	27名 3名 81名 77名	都士会HP 都士会 ニュース その他 ご案内郵送	理学療法士の知識・技術向上のために、リオオリンピックでの活動報告、ならびに研修会を行った。 今からすべき準備と課題と称して、近い将来もっとも重要になるであろう語学力と多種多様な人達との向き合い方などを、リオオリンピックや各国の会議にて通訳の活動をされているスペシャリストをお招きしてご講演頂いた。実際に出席者同士によるシナリオトレーニングなども行い、「多言語化しつつある現状に対し壁が少し低くなり歩み寄りやすくなった」「一歩踏み出す勇気が湧いた」などのご好評を得た。 当講演の狙いとして、来る2020年東京が開催地となり更に多種多様な人種の増加が見込まれるなか、都士会員だけでなく色々な職種の人達との様に連携・協力する必要があるのか、今後もスポーツ現場などを例に、考えていく場を増加させることが目標である。
肩関節理学療法アプローチの基礎と臨床	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年7月31日	首都大学東京 大 祝聴覚室	理学療法士 うち都士会員	138名 62名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、1～5年目のセラピストを対象とし、肩関節の評価と治療を学ぶ機会を与えることを目的に、肩関節における理学療法のポイントとして解剖学やバイオメカニクス、筋パランスを紹介し、症例紹介等も交えて講義を行った。 講師：樋口清英 氏(作新学院大学)、村木孝行 氏(東北大学病院)、高間省吾 氏(千葉メディカルセンター)、末間弘展 氏(首都大学東京)
高齢者の身体的特徴と運動療法	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年12月11日	東京工科大学	理学療法士 うち都士会員	66名 21名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上を目的として、理学療法では、疾患・障害を問わず高齢者の運動療法に関する研修会を開催した。本研修会では、老年症候群の理解から運動生理学の知識を整理し、実際の運動療法を考えることを目的とするほか、認知機能障害、転倒と二重課題(Dual task)の関連性にも焦点をあて、明日からの理学療法に役立てる内容とした。具体的なプログラムは以下の通りである。1. 老年症候群の理解 2. 加齢(aging)と運動生理学 3. 高齢者に対する運動療法の基礎 4. 二重課題と運動療法の実践 また、講師はこの分野に精通する理学療法士に依頼した。 講師：小松泰喜 氏(東京工科大学) 山田実 氏(筑波大学大学院) 菅原仁 氏(東京工科大学) 室増男 氏(東邦大学医学部)
国際競技大会(フェンシング)会場サポート事業	国際競技大会・スポーツ理学療法推進部	8	35 相談・ 助言	自主事業	主催事業	平成28年5月9日、6月17日、6月20日、9月24日、10月27日、11月8日、11月11日～12日、12月13日	日本女子体育大学、味の素ナショナルトレーニングセンター研修室3、墨田区総合体育館、長沙病院リハビリテーション室、駒沢オリンピック公園体育館、長沙病院会議室	理学療法士 うち都士会員	3名 3名	都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上のため国際競技大会会場サポート事業として、H28年10月、11月に日本フェンシング協会が開催する国際競技大会日本フェンシング協会が主催する大会の会場サポート(救護活動)を行った。救護活動の内容については、試合中または練習中にアクシデントの起こった選手に対しての、テーピング・アイシング・ストレッチ・絆創膏手当てなどであった。 サポートを行った大会は以下のとおり。 ①U-23アジア選手権大会(H28年10月27～29日) ②高円宮杯フェンシングワールドカップ2016(H28年11月10・11日) また、その事前研修として、フェンシングの競技特性やルール、応急処置の方法、また現場での障害に対して即効性のある治療機器の物理療法を実際に体感し学習する場として研修会の企画・運営を行った。 9月24日の研修会の詳細は以下の通りである。 「フェンシングのルール」講師：田中由美子先生(慶應義塾大学) 「試合中に発生するスポーツ外傷」講師：藤木崇史先生(国立スポーツ科学センター) 「応急処置について」講師：月ヶ瀬恭子先生(国士館大学防災・救急救助総合研究所)

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

上肢・下肢の触診機能解剖	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事 業	主催事 業	平成28年7月16日～18 日	首都大学東京 荒 川キャンパス 動療法室	理学療法士 うち都士会員	30名 24名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療 法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、3 日間のプログラムで上肢と下肢の触診と機能解剖に関する講義 および実技を開催した。講師は竹井仁、古川順光、米間弘展、 宇佐英幸、小川大輔、松村将司の6名の先生に依頼した。公募 方法は、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよ び東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象とし て募集した。
新人教育プログラム第1回研修会	学術局	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事 業	主催事 業	平成28年7月24日 平成28年8月29日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	356名 313名 (8/29) 各7名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、参 加希望の理学療法士を対象に、新人の育成研修会を実施した。 実施内容は以下の通りであった。 1: 人間関係及び接遇 (労働衛生含む) 2: リスクマネジメント (安全管理と感染予防を含む) 3: 協会組織と生涯学習システム 4: 理学療法における関連法規 (労働法含む) 5: 理学療法と倫理
新人教育プログラム第2回研修会	新人教育部	8	34. 講 座、セ ミナー ・育成	委託事 業	主催事 業	平成28年9月3日	首都大学東京荒 川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	330名 305名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、参 加希望の理学療法士を対象に、理学療法士としての広い知識・ 技術の普及と新人の育成を目的とした研修会を実施した。内容 は以下のB理学療法基礎・D理学療法の専門性・理学療法にお ける人材の育成から3コマとした。 1: 一次救命措置と基本処置 2: 症例報告・発表の仕方 3: 国際社会と理学療法
新人教育プログラム第3回研修会	新人教育部	8	33 講座、 セミナー、 育成	委託事 業	主催事 業	平成28年11月27日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	215名 182名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、参 加希望の理学療法士を対象に、理学療法士としての広い知識・ 技術の普及と新人の育成を目的とした研修会を実施した。内容 は以下のA必須初期研修5コマとした。 1: 理学療法と倫理 2: 協会組織と生涯学習システム 3: リスクマネジメント (安全管理と感染予防含む) 4: 人間関係および接遇 (労働衛生含む) 5: 理学療法における関連法規 (労働法含む)
新人教育プログラム第4回研修会	新人教育部	8	33 講座、 セミナー、 育成	委託事 業	主催事 業	平成29年2月4日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	280名 258名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、参 加希望の理学療法士を対象に、理学療法士としての広い知識・ 技術の普及と新人の育成を目的とした研修会を実施した。内容 は以下のB理学療法基礎・D理学療法の専門性・E理学療法に おける人材の育成から3コマとした。 1: クリニカルリズニング 2: 社会の中の理学療法 3: 生涯学習と理学療法の専門領域
成人片麻痺の評価と治療	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事 業	主催事 業	平成28年7月9日～10 日	順天堂大学医学部 附属順天堂医院	理学療法士 うち都士会員	29名 9名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療 法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、理 学療法及びリハビリテーション等に関連した専門的知識・技術 の向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士 を育成することを目的とし、最新の神経生理学の知識に基づ き、専門職としての自覚と自己研鑽にむけた一助となるために 必要な基本的な神経疾患に対する評価と技術の習得を目指す講 習会を開催した。講師は、国際ボース講習会講師会議員で ある大槻暁、曾根政宣、保苅吉秀、塚田直樹、高村浩司らによ り、ボース概念に基づいた脳卒中片麻痺に対する基本的なア プローチをわかりやすく提示した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

正常運動分析	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年1月28日～29日	東京都江東高齢者医療センターリハビリテーション科	理学療法士 うち都士会員	29名 6名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上を目的として、理学療法及びリハビリテーション等に関連した専門知識・技術の向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士を育成することを目的とし、臨床に即した運動分析に基づき、神経学的、運動学的解釈を踏まえて、より効率の良い運動パターンを考え、実際にセラピスト本人の身体を使って動きを感じながら同時にハンドリングも学ぶ内容を開催した。 〈講師〉 塚田直樹(順天堂練馬病院)、保菊吉秀(順天堂医院)、大規模(順天堂東京江東高齢者医療センター)、古澤浩生(リハビリテーション天草病院)、鮎川将之(山梨リハビリテーション病院)
西多摩南多摩ブロック研修会	業務推進部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年11月11日	八王子学園都市センター	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	44名 2名 95名 93名	都士会HP 都士会 ニュース 案内はがきの配布	理学療法士の知識・技術向上のために、理学療法及びリハビリテーション等に関連した専門知識・技術向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士の育成を目的に、研修会を実施する。今年度の東京都理学療法学会大会において好評であった曾根政富先生を講師迎え、「脳卒中片麻痺者の歩行に対する理学療法」～ボパース概念に基づいて～をテーマに実技を含めて講義を行った。理学療法士の参加だけでなく、西多摩南多摩ブロック内のリハビリ専門職養成校から多くの学生が参加した。
第35回東京都理学療法学会大会	第35回都士会学会準備委員会	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年6月19日	東京医療学院大学	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	196名 9名 764名 710名	都士会HP 都士会 ニュース その他 研修会等でのチラシの配布 ケママネ連絡簿での配布	理学療法及びリハビリテーション等に関連した専門知識・技術向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士の育成を目的に、学術大会において、教育講演を8講演、hands-onSeminarを4講座行う。講演や講座の内容として、中枢性神経疾患や運動器疾患に対する理学療法のみならず、精神疾患合併、がん、呼吸器疾患、ウィメンズヘルスケアなど幅広い分野から第1線の先生方を講師に招き、今理学療法士に求められていることについて講演して頂いた。
第4回区西南部区西部ブロックスポーツ理学療法研修会	業務推進部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年2月27日、平成29年3月14日	慶応大学病院、河北総合病院	理学療法士 うち都士会員	各日12～68名 各日12～67名	都士会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、区西南部・区西部ブロック主催の第4回スポーツ理学療法研修会を、慶應義塾大学信濃町キャンパスで開催した。JCHO新宿メディカルセンター所属で全日本水球チーム ポセイドンジャパンのトレーナーである理学療法士の濱中康治先生による「ポセイドンジャパンリオ・オリンピック帯同報告」として、トレーナーの役割と活動について講演を実施した。また、河北総合病院所属の見俣翔先生、寺口佳織先生には、「当院におけるスポーツ理学療法の現状と展望」と題し、院内でのスポーツリハチームの発足、さらに評価から治療実践までを症例を通してのご講演をいただいた。さらに、特別講演として慶應義塾大学スポーツ医学総合センターの東 宏一郎先生に「最新の持久力トレーニング-運動強度に注目して」と題し、心肺持久力からみたトレーニングゾーンとトレーニング方法、スポーツ栄養の知識についてご講演をいただいた。
第4回東京都小児理学療法セミナー	小児福祉部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年10月7日、28日	ルノアール(新宿三丁目ビックビル店) 東京工科大学	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	(10/22) 40名 各日5～100名 (10/7) 5名	都士会HP 都士会 ニュース 小児リハビリメーリングリスト、重症心身障害理学療法研究会メーリングリスト	理学療法士の知識・技術の向上を目的とし、「発達を学ぶ」をテーマに鶴岡大学ニューロリハビリテーション研究センターの森岡周氏を講師としてセミナーを開催した。参加者はPTだけでなく、OTやSTを含む約140名の方が参加した。セミナー内容は脳に関する科学的知見を踏まえた発達の講義を通じ、理学療法士として、または一人の人間として、目の前の子ども達、そしてこれから出会う子ども達の豊かな生活をどのように支援していくべきかを再考する内容であった。セミナー後のアンケートでは、「PTとして運動面だけでなく、発達を多角的に考える機会になった」「発達とは小児分野のみのイメージがあったが、発達を通して脳機能の発達、それが先々成人になった時の問題、障害としてどう現れるか、自分たちの行動、心理がどう働くか、に大きく影響していることがわかり、とても奥深く興味深い内容でした」など多くの好評を頂いた。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

第5回区西南部・区西部ブロック主催 区西南部・区西部ブロック学術集会	業務推進部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年11月20日	慶応大学病院北 里記念講堂	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	2名 2名 82名 80名	都士会HP 都士会 ニュース ポスターを 関係各所に 配布	理学療法士の知識・技術向上のために、区西南部西部ブロックが学術集会を行った。特別講演は日本理学療法で地域包括推進の中心であられ、さらに当ブロックの医療施設初台リハビリテーション病院の森本榮先生に「地域包括ケアに求められる理学療法士の能力」というテーマでご講演頂いた。病院勤務の若い理学療法士が多い当ブロックは地域包括ケアシステム自体を理解していないものも多く、その意味でも貴重なご公演頂いた。また、やはり当ブロックに所属する国士館大学の地神先生に「アスリートを支える理学療法士の知識と技術」というテーマでリオデジャネイロオリンピック金メダルを取ったシンクロナイズドスイミングにトレーナーとして帯同した報告を受けた。我々理学療法士が今後東京オリンピックでどのようにしてゆけば良いのかのアイデアを頂いた。演題発表は口述とポスターを両方行わせる形式を今年度はとってみたが、どの報告も盛んな討議がなされ経験の浅い理学療法士が多いブロックの特性からとても好評であった近年、大施設化とともに、他施設との連携が希薄になってきている。近隣の多施設が集まり、情報交換ができる貴重な機会となっている。
第9回区東北部・区東部ブロック 学術集会	業務推進部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年1月29日	首都大学東京 荒川キャンパス	一般都民 理学療法士 うち都士会員	2名 96名 92名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上のために、理学療法士およびリハビリテーション等に関連した専門的知識・技術向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士を育成する目的に首都大学東京荒川キャンパスにて第9回区東北部・区東部ブロック学術集会を開催した。午前中には特別講演を2演題、Iでは東京都理学療法士協会理事の斎藤弘先生を招き「国際スポーツ競技大会で求められる理学療法士の役割〜リオオリンピック視察報告〜」を、IIでは、リハロボ協会の田中一秀先生、木村佳晶先生、志垣健一朗先生を招きリハビリテーションロボットの動向〜はじめてのロボット〜をご講演いただき、今回は私たち理学療法士がこの先何をしたいかなくては行けないか？未来を考えるための講演となった。午後は、17演題の症例検討を2会場に分け、10分の発表と5分の質疑応答でゆっくり時間をとり、活発なディスカッションが行えた。学術集会終了で、大会長賞として、苑田会リハビリテーション病院の妹尾康平先生が獲得した。今後、参加人数を増やし、参加したことが有意義ある事をさらに実感できる学術集会を目指す。
痛み・麻痺・運動機能障害に対する マイオチューニングアプローチの理 論と実践	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年7月9日～10 日	帝京科学大学 千 住キャンパス	理学療法士 うち都士会員	31名 10名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療 法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、現職理学療法士向けに痛み・麻痺・運動機能障害に効果を示すマイオチューニングアプローチの技術を学ぶことができる講習会を開催した。内容は主に肩甲骨周囲の骨や筋の触察、筋の痛みの評価、痛みの治療に関するものとした。参加者は1～3年程度の経験の浅い者から中堅者まで幅広い経験層にわたっていた。講習の前半においては、生理学や解剖学を基礎とした治療理論についての講義を行い、その後実践的な実技練習へと移行した。受講生に対して密度の高い実技指導が行えるように十分な人数の技術講師を採用した。受講を終えた受講生からは、「痛みの評価について深く学ぶことができた」、「明日の臨床から使える実践的な技術を学ぶことができた」というような感想を聞くことができた。
徒手療法概論	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年6月26日	法政大学多摩キャン パス	理学療法士 うち都士会員	43名 20名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療 法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、現職理学療法士向けに徒手療法の基礎的技術を学ぶことができる講習会を開催した。内容は主に上下肢の関節の機能障害を改善する手技の教授を行った。参加者は1～3年程度の経験の浅い者から中堅者まで幅広い経験層にわたっていた。講習内容は手技の前提となる治療理論を運動学的・解剖学的に解説した後、実技練習へと移行した。講習会終了後のアンケート結果の内容も、「実践的な技術が身についた」、「臨床での疑問が解決できた」など概ね支持的な内容が大半を占めた。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

認知症患者の日常生活動作練習	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年6月26日	帝京科学大学	理学療法士 うち都士会員	66名 17名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、理学療法の介入が難しいとされてきた認知症患者に対して、行動変容を導く可能性を高める介入方法のひとつである「応用行動分析学を用いた分析と介入方法」について研修会を実施した。講師は、この分野に精通した高知リハビリテーション学院山崎裕司氏、了徳寺大学加藤宗規氏、慶応義塾大学先端研究センター大森圭貢氏、帝京科学大学豊田輝氏に依頼した。具体的には、①応用行動分析学の基礎②認知症患者に対する行動分析学の介入③事例紹介④分析と介入計画の実践についてご講義を頂いた。
脳性麻痺児の評価と治療	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年5月14日～15日	順天堂大学医学部 附属順天堂医院	理学療法士 うち都士会員	34名 6名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、心身の発達障害の理学療法に関する知識と技能を習得し、一定の経験と有し、安全で適切に実践することができるための講習会を開催した。講義内容は、痙直型、アトリーゼ型に関する講義、デモンストレーション：2症例(痙直型、アトリーゼ型)、実技練習：座位における姿勢分析を行った。講師：北原エリ子(順天堂医院)、丸森晴美(東京小児療育病院)
平成28年度区東部・東北部ブロック 研修会呼吸器疾患の理学療法	業務推進部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年2月26日	帝京科学大学	理学療法士 うち都士会員	29名 25名	都士会HP 都士会 ニュース その他 日本理学療法士協会 ホームページ	理学療法士の知識・技術向上のために、講師を「3学会(日本胸外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔科学会)合同呼吸療法認定士」も取得している慶応義塾大学医学部附属病院リハビリテーション部の深井和良先生に依頼し、理学療法士の知識・技術の向上を目的として、1日間の呼吸器疾患の理学療法の研修会を開催した。知識の確認の意味で呼吸器の解剖・正常生理という基礎から病態生理までの講義を行った後、肺聴診、排痰技術の指導の実技まで呼吸理学療法技術の研鑽が図られた。特に、最終プログラムでは、各受講者の症例検討による討議が行われ、具体的な事例と活発な討議を通じた知識・技術の向上が行われた。
理学療法研究法講習会	研究推進部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年1月21日	日本大学文理学部	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 57名 45名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、以下のテーマで理学療法研究法講習会を行った。 1. テーマ：小児理学療法とその研究手法 2. 日時：平成29年1月21日(土) 14:00～17:15(受付13:30～) 14:00～15:30 小児の理学療法評価～NICUを中心に～ (講師：東京女子医科大学病院・長谷川三希子先生) 15:45～17:15 小児理学療法における研究手法 (講師：東京工科大学・楠本泰士先生)
臨床教育の方法論	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年8月27～28日	帝京科学大学	理学療法士 うち都士会員	61名 24名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、行動分析学に基づいた教育技法について研修する。具体的には、1) ひとの行動の法則、2) 行動分析学からみたクリニカルワークショップ、3) 臨床教育における実践報告(2施設)、4) やる気を引き出す患者教育①～運動療法・日常生活動作練習～、5) やる気を引き出す患者教育②～高次脳機能障害から認知症～、6) やる気を引き出す新人・若手教育をテーマに講演をいただいた。講師は、この分野に精通した高知リハビリテーション学院山崎裕司氏、了徳寺大学加藤宗規氏、慶応義塾大学先端研究センター大森圭貢氏、帝京科学大学豊田輝氏、セコムグレイック病院小諸信宏氏、東船橋病院松井剛氏、上村朋美氏に依頼した。
疼痛の評価と治療	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成28年11月6日	法政大学 多摩 キャンパス	理学療法士 うち都士会員	55名 23名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上を目的として、疼痛の評価と治療に関する講義及び実技の講習会を開催した。講義は安藤正志、岡野智の2名の先生に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと日本理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。
(9) 理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に関する事業											

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

ウィメンズヘルスに関する講習会	ライフ・サポート部	9	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年2月26日	東京医科歯科大学医学部附属病院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	2名 28名 14名	都士会HP 都士会 ニュース SNS (facebook等)への広報	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に関する事業として、女性の生涯にわたる健康をサポートすることを目的に、理学療法を交えた知識・技術に関する講習会を開催する。 内容：「産前産後のからだと理学療法の関わり」 講師：東京医科歯科大学医学部附属病院 リハビリテーション部 永見倫子 先生
ナースフェスタ2016	外宣部	9	35 相談・助言	委託事業	共催事業	平成28年5月14日	新宿駅西口広場	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1500名 300名 10名 6名	看護協会 HP、広報誌	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉を目的とし、東京都看護協会が主催する「ナースフェスタ」にて都民を対象とした健康相談事業を実施した。相談内容としては、医療保険や介護保険などの具体的な理学療法施行場面や内容に関する相談に対応した。また、身体機能面の悩みや問題、家族の状況に対する、運動療法・理学療法に関する相談にも対応した。
理学療法士動向把握調査	ライフ・サポート部	9	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成28年12月4日、平成29年2月26日、3月11日	東京医科歯科大学医学部附属病院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	各日1~2名 各日20~80名 各日14~68名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に関する事業として、理学療法士の勤務状況・環境、職員支援に関して調査した。 ●ライフ・サポート部研修会でのアンケート実施 ・ライフ・サポート部研修会にて配布し、参加者に対して調査を実施 ・アンケート結果の今後の研修会への還元(講座内容、キッズスペースの配置など) ●大規模アンケート調査の実施 ・ライフワークバランス等に関するアンケートを作成 ・アンケート結果の集計・考察・発表の実施(予定：来年度) ・結果等から地域包括ケアに還元していく予定
就労支援を目的とした施設見学	ライフ・サポート部	9	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年4月1~10日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士	4名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に関する事業として、長中期的に離職していた理学療法士に対して、再就労するための基礎研修として、見学可能な施設の紹介を行った。 ●見学者に向けた介護保険制度資料の作成・提供も合わせて実施した。
研修会「介護保険領域のリハビリテーション」	介護保険部	9	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年1月26日	中野サンプラザ	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	27名 7名 7名	研修会案内作成し近隣事業者に配布	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉を目的とし、他職種を中心に介護保険領域のリハビリテーションに関する研修会および意見交換会を開催した。具体的な対象は介護支援専門員や一般都民等とし、実際に介護保険領域で活躍している理学療法士を講師として招き、介護保険領域におけるリハビリテーションの現状と課題について講演をいただいた。また、参加者全員で意見交換も実施した。
就労支援のための技術講習会	ライフ・サポート部	9	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年12月4日	東京医科歯科大学医学部附属病院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 80名 68名	都士会HP 都士会 ニュース SNS (facebook等)への広報	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に関する事業として、会員への就労支援を目的に、基礎技術・知識や専門スキル向上のための講習会を開催。 テーマ：「新人及び離職者に向けた疾患別リスク管理研修会」 講師：①運動器疾患のリスク管理 田中友也 先生(苑田会人工関節センター病院) ②呼吸器疾患のリスク管理 小川英臣 先生(東京医科歯科大学医学部附属病院) ③脳血管疾患のリスク管理 三谷祥子 先生(東京医科歯科大学医学部附属病院) ④内部疾患のリスク管理 江藤政介 先生(台東病院)
労務管理に関する研修会	ライフ・サポート部	9	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年3月11日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	20名 19名	都士会HP 都士会 ニュース SNS (facebook等)への広報	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に関する事業として、各施設のリハビリテーション部門のPT管理者を対象に、円滑な組織運営や職員支援を目的に、労務管理等の研修会を開催。 内容：「理学療法士が知っておきたい労務管理と法令順守(コンプライアンス)」 講師：了徳寺大学 教授 加藤宗規 先生
(10) 先進的な理学療法法の確立に資する事業											

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

2016年9月3日～9月5日 ソウル学術大会へ講師派遣	渉外局	10	36 調査・資料 収集	自主事業	共催事業	平成28年9月3日～5日	ソウルハヌル病院、ソウルキョンヘ大学	理学療法士 うち都士会員 一般都民	各日7名 各日6名 3日10名 4日1500名		先進的な理学療法の確立に資する事業として、9月3日(土)ソウル市内でも大変有名な整形外科病院であるハヌル病院での見学・調査を実施した。外科的治療も多数される中、理学療法・スポーツ医学分野においては、脊柱外来やスポーツ外来など専門外来を設けていた。また、理学療法士のほかにもアスレチックトレーナーも在籍し、医師-理学療法士-アスレチックトレーナーがそれぞれの専門分野の中で連携していた。対象患者は、小中学生の競技者からプロスポーツ選手まで幅広く、経費支払い方法も健康保険のほか個人契約型医療保険や自由診療まであり日本の情勢との違いを学んだ。 9月4日(日)ソウル土理学療法学術大会では、医療機器展示会を見学した。国内にはない衝撃波治療器や振動刺激機器などの情報収集を行った。
人工膝関節置換術の理学療法ガイド	研修部	10	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年7月3日	苑田会人工関節センター病院	理学療法士 うち都士会員	22名 11名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	先進的な理学療法の確立に資するための、人工膝関節置換術の手術方法や理学療法の評価および治療のポイントの理解、人工膝関節の研究の現状と研究計画の立て方を学ぶ機会を与えることを目的に、医師による変形性膝関節症の診断や治療方法の解説、骨模型を用いた人工膝関節置換術の手術方法のデモンストレーションを行った。また、術前と術後早期から回復期に対する理学療法の評価と治療のポイントを解説し、実際の患者様とともに理学療法の評価と治療のデモンストレーションを行った。その他、先進的な人工膝関節の研究の現状と研究の進め方についても解説した。
運動療法の生理学的根拠	研修部	10	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年12月4日	首都大学東京荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	157名 75名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	先進的な理学療法の確立に資する事業として、運動療法の生理学的根拠と臨床での活用における最新のエビデンスを学習し、運動療法の生理学的根拠について、近年の日本を中心とした研究成果を中心に講義していただいた。また、癌腫と筋力強化、脳卒中後片麻痺患者への運動療法の最新のエビデンス等を講義して頂いた。講師は、この分野に精通する柳澤健氏と新井光男氏に依頼した。
メディカルスタッフ養成事業テキスト作成	国際競技大会・スポーツ理学療法推進部	10	34 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年5月16日、6月10日、7月4日	社会医学技術学院、日本女子体育大学健康管理センター	理学療法士 うち都士会員	各日3～7名 各日3～7名	都士会HP	先進的な理学療法の確立に資する事業として、東京五輪・パラリンピックメディカルスタッフ養成事業のテキストとして、ポリクリニック内リハビリテーション室でスポーツ理学療法を提供するスタッフのサービス基準を向上させること、統一のサービスを提供できることを目的に具体的オペレーション作成に取り組んだ。 ①導入基本オペレーションマニュアル作成 ・触診時の把持方法、手の使用部位名、指の使用部位名についての用語の統一 ・触診時の手掌接地面をGrade分けの指標の検討とテキスト用テスト写真撮影 ・作成テキストを用いた養成事業シュミレーション勉強会の開催 ②膝関節触診オペレーションマニュアル作成(スポーツ障害好発関節) ・触診方法についての具体的文章の作成、および説明に必要な写真撮影の準備
国際福祉機器展視察	PT関連機器開発委員会	10	36 調査・資料 収集	自主事業	主催事業	平成28年10月12～14日	東京ビックサイト TOC有明	来場者人数	112,752名	都士会HP 都士会 ニュース	先進的な理学療法の確立に資するため、国際福祉機器展において発表されている機器に関し、新たに開発・発表されたものを中心に視察し、報告した。
(11) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業											

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

第1回理事会	総務部	11	58公益性が無いその他の事業	自主事業	主催事業	平成28年4月15日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	44名 44名	各局部委員会報告(50周年事業準備委員会に関して、介護予防・健康増進キャンペーンに関して、東京五輪に関して、ソウル市会との休戦に関して、講習会の履修ポイント認定に関して、東京新聞の掲載内容に関して、東京都リハビリテーションマップの配布方法に関して、施設見学会の期間変更に関して、協会指定管理者研修システムの運用に関して、各部署の部員増員・体制変更に関して等)について話し合った。
第2回理事会	総務部	11	58公益性が無いその他の事業	自主事業	主催事業	平成28年5月13日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	23名 23名	各局部委員会報告(代議員削減・検討委員会の設置の検討に関して、第1回代議員総会の議題および日程に関して、平成27年度事業報告及び決算書に関して、委託事業に対する会員派遣における本会の保険加入に関して、東京新聞掲載記事に関して、介護予防事業への理学療法士派遣に関して、障害者スポーツの環境整備に向けた実務者会議に関して等)について話し合った。
代議員総会	総務部	11	58公益性が無いその他の事業	自主事業	主催事業	平成28年6月5日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	139名 139名	各局部委員会報告(平成27年度決算書類に関して、会費規程に関して、選挙管理員に関して、平成27年度事業報告・平成28年度事業計画に関して、理学療法士賠償責任保険全員加入制度の導入に関して、会館取得に関して等)について話し合った。
第3回理事会	総務部	11	58公益性が無いその他の事業	自主事業	主催事業	平成28年7月8日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	22名 22名	各局部委員会報告(東京新聞ニュース原稿に関して、ノベルティに関して、ホームページの研修会案内に関して、受託研修事業運用規定に関して、平成28年度研究助成応募と選考に関して、ブロック世話人追加・支部化に関して、追加事業となる子どもの福祉機器展の開催に関して等)について話し合った。
第4回理事会	総務部	11	58公益性が無いその他の事業	自主事業	主催事業	平成28年7月16日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	13名 13名	本会の強みと弱みについてワークショップ(SWOT分析と課題抽出、課題解決策の検討)を実施した。
第5回理事会	総務部	11	58公益性が無いその他の事業	自主事業	主催事業	平成28年9月16日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	33名 33名	各局部委員会報告(国際部の新設に関して、会費規程改定に関して、特定資産取扱規程変更に関して、賛助会員の退会に関して、長寿たすけ愛護演劇の応募に関して、支部用広報チラシ作成に関して、平成28年度研究助成に関して、理学療法士講習会のキャンセル対応に関して、第36回東京都理学療法士学術大会に関して、支部化への準備事業費予算の臨時申請に関して等)について話し合った。
第6回理事会	総務部	11	58公益性が無いその他の事業	自主事業	主催事業	平成28年10月14日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	38名 38名	各局部委員会報告(第36回東京都理学療法学術大会に関して、平成29年度理学療法士講習会について、広報紙の電子化に関して、リハビリテーションマップ配布について、ノベルティに関して、新規事業計画に関して等)について話し合った。
第7回理事会	総務部	11	58公益性が無いその他の事業	自主事業	主催事業	平成28年11月25日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	23名 23名	各局部委員会報告(災害リハビリテーション啓蒙研修会に関して、抄録集広告掲載および企業出展に関して、都市会各ブロックスポーツ部門担当者合同会議の開催に関して、新潟県士会からの診療報酬のアンケートの協力に関して、平成29年度の指定管理研修に関して、ブロック世話人の公募に関して、平成29年度の支部の予算に関して、出稿依頼への対応法に関して等)について話し合った。
第8回理事会	総務部	11	58公益性が無いその他の事業	自主事業	主催事業	平成29年1月20日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	44名 44名	各局部委員会報告(役員選挙に関して、糖尿病療養指導士認定機構設立に関して、第37回東京都理学療法学術大会に関して、イベント用品制作に関して、地域ケア会議の派遣規程に関して、各研修会における新人教育プログラムの単位認定に関して、各部署の追加承認に関して等)について話し合った。

(公社)東京都理学療法士協会 平成28年度事業報告

第9回理事会	総務部	11	58公益性が無いその他の事業	自主事業 主権事業	平成29年3月3日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	24名 24名		各局部委員会報告(50周年記念式典の日時変更に関して、特定費用準備資金に関して、平成29年度事業計画書および収支予算書に関して、平成29年度の理事会推薦理事に関して、各支部の承認に関して、ブロック世話人の変更および公募に関して、三士会での組織づくりに関して、第36回東京都理学療法学会大会に関して、業務推進部の届への変更に関して、生活期共通評価表通所版の印刷および発送に関して、新聞掲載案の検討に関して等)について話し合った。
書記	書記部	11	58公益性が無いその他の事業	自主事業 主権事業	平成28年4月15日、5月13日、6月5日、7月8日、9月16日、10月14日、11月25日、平成29年1月20日、3月3日	東京医科歯科大学、東京都理学療法士協会事務局	理学療法士	各日13~148名		理事会・総会等、法人に関わる会議の議事録作成
災害時安否確認システム試験運用	災害対策委員会	11	58公益性が無いその他の事業	委託事業 主権事業	平成28年9月1日~8日、平成29年3月11日~18日		その他医療従事者 理学療法士	各日199~257名 各日303~329名	都士会HP、 都士会 ニュース	目的：災害時に会員の安否を速やかに且つ確実に確認し、必要な対応が出来るようにするため。各会員の防災意識向上のため。  日程：防災の日(9月1日~9月8日)、東日本大震災の日(3月11日~3月18日) 情報入力方法：東京都理学療法士協会、東京都作業療法士会、東京都言語聴覚士会のホームページ上からも入力。 インターネットを使用し、東京都内理学療法士、作業療法士、言語聴覚士に対して無償で実施。 結果：人数は上記を参照。結果は協会ニュースとして発行する。 回答者の人数は徐々に増加傾向であるが、認知度は低い状況にある。広報や情報入力方法を検討し、災害時に有効となるようにシステムを構築していく。
代議員総会準備	公益法人推進課委員会	11	58公益性が無いその他の事業	自主事業 主権事業	通年	多摩丘陵病院 他	理学療法士 うち都士会員	3名 3名	都士会HP 都士会 ニュース	代議員総会の準備のために、関係部署との調整を実施。
平成28年度役員選挙	選挙管理委員会	11	58公益性が無いその他の事業	自主事業 主権事業	平成29年1月~3月	web代議員選挙	都士会員	都士会員全員		インターネット上で役員選挙を実施した(Web選挙)。立候補者は定数内であり立候補者全員が無投票当選となる見込みである。なお、監事については立候補者がなかったため、その旨理事会に報告した。来年度になるが、4月の理事会では、欠員分も含め役員が決定する見込みである。